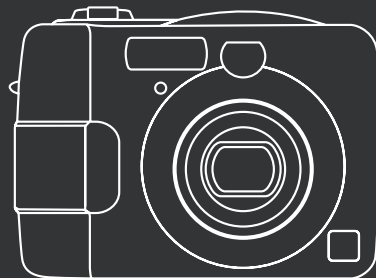
Panasonic

取扱説明書

デジタルカメラ

品番 DMC-LC70

LUMIX

LEICA
DC VARIO-ELMARIT

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、デジタルカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（88 ～ 94 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT0J99

もくじ

はじめに

準備

撮る・基本

見る・基本

撮る・シーンモード

撮る・応用

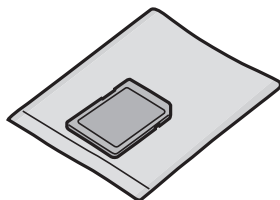
見る・応用

パソコン・プリンターとの接続

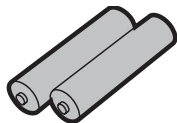
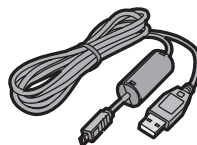
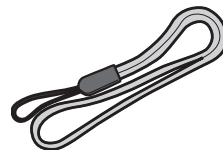
その他

付属品

本機をご使用いただく前に、すべての付属品が入っていることをご確認ください。記載の品番は2004年4月現在のものです。

■ SD メモリーカード（16MB）
RP-SD016B
（本文中では**カード**と表記します）

■ AV ケーブル
K1HB08CD0003

■ CD-ROM

■ 単 3 形アルカリ乾電池(2 本)

■ USB 接続ケーブル
K1HB08CD0008

■ ストラップ
VFC4057

使う前に まずお読みください

事前に必ずためし撮りをしてください（8ページの「クイックガイド」を参照してください）

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

著作権にお気を付けください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けください。

カードの画像について

- 以下の場合、本機で再生できない場合があります。
  - 他機で記録、作成した画像
  - パソコンで編集した画像
- 本機で記録、作成した画像は他機で再生できない場合がありますので、あらかじめお確かめください。

本書内のイラストについて

本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

本機で使用できるカードは

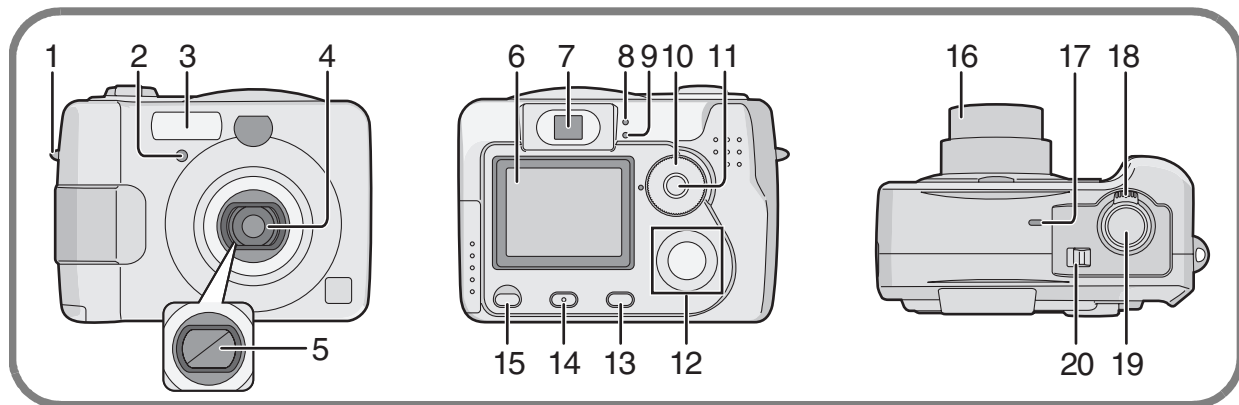
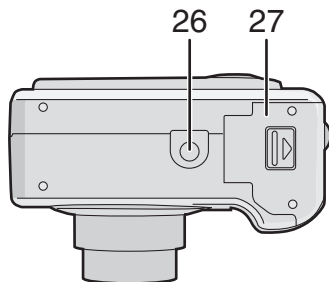
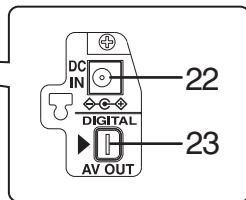
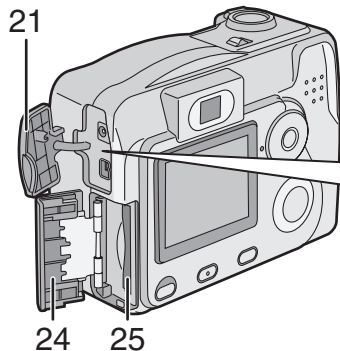
SDメモリーカード、マルチメディアカードです。

- 本書ではSDメモリーカードとマルチメディアカードをカードと記載しています。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SDロゴは商標です。
- Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporationの商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Computer Inc.の登録商標または商標です。
- LEICA/ライカはライカマイクロシステムIRGmbHの登録商標です。
- ELMARIT/エルマリートはライカカメラAGの登録商標です。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeは米国および他の国々で登録された商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

各部の名前

1 ストラップ取付部
2 セルフタイマーランプ(P33)
3 フラッシュ発光部(P29)
4 レンズ
5 レンズカバー
6 液晶モニター(P18, P85)
7 光学ファインダー
8 電源表示ランプ(P20, P23)
9 動作表示ランプ(P15, P23)
10 モードダイヤル(P7)
11 単写 / 連写切換ボタン(P34)
12 カーソルボタン
◄/ セルフタイマーボタン(P33)
▼/REVIEW/SET ボタン(P27)
►/ フラッシュボタン(P29)
▲/露出補正(P31)/オートブラケット(P32)/WB 微調整(P50)ボタン
13 MENU ボタン(P20, P49)
14 DISPLAY ボタン(P18, P64, P84)
15 削除(P38)/FOCUS(P53)ボタン
16 レンズ鏡筒(P24)
17 マイク(P47, P53)
18 ズームレバー
(P28, P36, P37, P54)
19 シャッターボタン(P23)
20 電源スイッチ(P23)

21 端子カバー
22 DC IN 端子(P79, P81)
23 DIGITAL(P79, P81)/
AV OUT 端子(P76)
24 メモリーカード扉(P14)
25 メモリーカード挿入口(P14)
26 三脚取付穴
27 電池扉(P13)

■ モードダイヤル

撮りたいシーンに合わせて、撮影モードを選び、ダイヤルを回して、印に合わせます。本書では、各機能や設定が使用できるモードを以下のように説明しています。

【例】白い部分のモードで使用できます

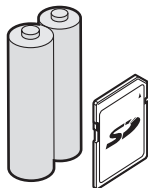
部分のモードでは使用できません

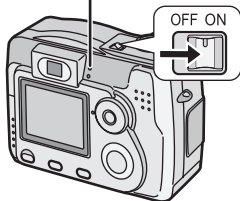
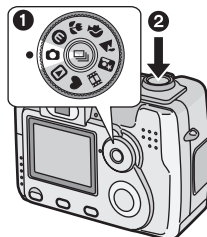
- モードダイヤルはゆっくり確実に回してください。

：通常撮影モード(P23)
：エコモード(P44)
：マクロモード(P44)
：ポートレートモード(P45)
：風景モード(P45)
：夜景ポートレートモード(P46)
：動画モード(P47)
：かんたんモード(P41)
：再生モード(P35)

クイックガイド

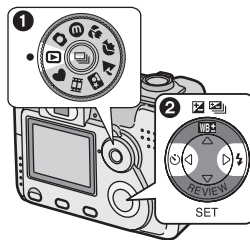
本機を使った撮影の流れです。それぞれの操作については、必ず各ページをお読みください。

電池とカードを確認する

●付属の電池または新しいアルカリ乾電池を入れてください。（P13）
ニッケル水素電池（別売）の場合は充電してから入れてください。
●カードを入れてください。（P14）
●電池については 9 ～ 12 ページをよくお読みください。

電源を [ON] にする

●電源表示ランプ（緑）が点灯します。
●電池残量が少ないときには、電源表示ランプがゆっくり点滅します。

撮影する

●撮影する前に、時計を設定してください。（P16）
❶モードダイヤルを通常撮影モード [📷] に合わせる
❷シャッターボタンを押して撮影する（P23）
●フラッシュ発光部を指などでふさがないようにしてください。（P24）

4

撮影した画像を見る

❶モードダイヤルを再生モード [▶] に合わせる
❷カーソルボタン ◀、▶ を押して、見たい画像を表示する（P35）

電池について

■ 使用できる電池について

○ 単３形アルカリ乾電池（付属）
○ 単３形充電式ニッケル水素電池（別売）

- Panasonic 製電池の使用をおすすめします。
- 電池の銘柄や製造日からの保存期間・保存状態によって、性能が大きく異なる場合があります。
- 電池は低温時（10 ℃以下）には一時的に性能が低下しますが、常温に戻ると回復します。
- 使用温度や使用条件によっては、誤動作を起こしたり、電池残量が正しく表示されずに電源が切れる場合がありますが、異常ではありません。
- 電池を長持ちさせるために、撮影の合間には電源をこまめに切ることをおすすめします。長時間使用するときは、ニッケル水素電池の使用をおすすめします。
- 一度使い切った電池は、しばらく放置すると性能が回復することがありますが、またすぐに使えなくなりますので、必ず新しい電池と交換してください。

■ 使用できない電池について

× マンガン乾電池	× リチウム電池
× ニッケル乾電池	× ニッカド電池

- 上記の電池は動作保証しておりません。また液もれや以下のような誤動作を起こす場合があります。
  - 電池残量が正しく表示されない
  - 電源が入らない
  - カードのデータが破壊される

■ 電池残量が正しく表示されない電池について

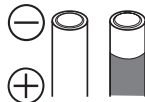
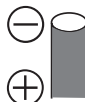
オキシライド乾電池	ニッケルマンガン電池

- 上記の電池は、電池の特性により、かなり使用された電池であっても、電池残量表示が [ ]（十分に電池残量があることを表示）になる場合があります。
  また、[ ] のまま、警告なしに電源が切れる場合がありますので、お気を付けください。本機の異常ではありません。

■ 使用できない形状の電池について

下記のような形状の電池は使用できません。

- 液もれ、発熱、破裂の原因になります。
- 市販されている電池の中にも外装シールの一部またはすべてが覆われていない電池があるので、絶対に使用しないでください。（下図を参照してください）

●外装シールをすべてはがされているもの（裸電池）、または一部がはがされているもの	●⊖ 極が平らな電池

電池について（つづき）

■ 残量表示について

残量表示が液晶モニターに表示されます。（AC アダプター/DMW-AC1（別売）につないで使うときは表示されません）

→ → →

（表示が赤色に変わり点滅します）：
電池を交換、または充電してください。

■ 電池の取り扱いについて

電池の取り扱いかたを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の原因になることがあります。以下のことをお守りください。また、88 ～ 94 ページの「安全上のご注意」を合わせてお読みください。

- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 外装シールをはがしたり、傷を付けないでください。
- 落としたり、ぶつけたりして大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれ、変形、変色、その他異常に気付いたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手が届く範囲に放置しないでください。
- 電池を交換するときは、２本とも同種類の新しい電池に交換してください。
- 本機を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

- 使用直後の電池は高温になる場合があります。電池の取り出しは電源を [OFF] にして、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 低温時（10 ℃以下）は電池の性能が低下し、撮影 / 再生時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池使用時は短くなる傾向があるため、ポケットの中などで温めてから使用してください。電池をポケットなどで温める場合、ライターなどの金属類やカイロに直接電池が触れないようにお気を付けください。
- ⊕⊖ 極に皮脂などの汚れがあると、撮影 / 再生時間が極端に短くなる場合があります。電池を入れる前に ⊕⊖ 極を乾いた柔かい布でていねいにふいてください。

万一、液もれが発生したときは、電池挿入部に付いた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

■ 充電式ニッケル水素電池について

ニッケル水素電池は専用の充電器を使って充電すると、使用できるようになります。ただし、取り扱いかたを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の原因になることがあります。以下のことをお守りください。

- ⊕⊖ 極に汚れがあると、正常に充電できない場合があります。⊕⊖ 極と充電器の端子を乾いた柔かい布でていねいにふいてください。
- お買い上げ時や、長期間使用していなかったニッケル水素電池は、十分に充電されない場合があります。これは電池の特性によるもので異常ではありません。充電を数回繰り返すことで正常に戻ります。
- 電池容量を使い切ってから充電することをおすすめします。電池容量を使い切らずに充電を繰り返すと、電池容量が持続しにくくなることがあります。（メモリー効果といいます）
- メモリー効果が発生したときは、撮影または再生できない状態まで使い切ってから満充電を数回繰り返してください。電池容量が回復します。
- ニッケル水素電池は使用しないときでも自然放電により電池容量が低下します。
- 充電したニッケル水素電池を連続して充電しないでください。
- 外装シールをはがしたり、傷を付けないでください。
- お使いの充電器の取扱説明書をお読みください。

ニッケル水素電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて、電池の容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命と思われます。新しい電池をお求めください。

- 寿命は保管方法や使用状況、環境によって異なります。

電池について（つづき）

■ 電池寿命について

CIPA 規格による撮影枚数

- CIPA は、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。

使用する電池	撮影枚数
付属の電池または市販のPanasonicアルカリ乾電池	約 160 枚
満充電された Panasonic ニッケル水素電池（別売 /HHR-3PPS）	約 320 枚

撮影条件

- 温度 23 ℃ / 湿度 50%、液晶モニターを点灯
- SD メモリーカード（付属）使用
- 電源を入れてから 30 秒経過後、撮影を開始
- 30 秒間隔で 1 回撮影、フラッシュを 2 回に 1 回発光
- 撮影ごとに、T 端→ W 端または W 端→ T 端にズームを動かす
- 10 枚撮影ごとに電源を切り、電池の温度が下がるまで放置

低温時の撮影枚数

（温度 0 ℃、その他の撮影条件は上記 CIPA 規格と同じ）

使用する電池	撮影枚数
付属の電池または市販のPanasonicアルカリ乾電池	約 40 枚
満充電された Panasonic ニッケル水素電池（別売 /HHR-3PPS）	約 300 枚

- アルカリ乾電池は、低温時に著しく性能が低下しますので、お気を付けください。

液晶モニター消灯時の撮影枚数

（液晶モニター消灯、その他の撮影条件は左記 CIPA 規格と同じ）

使用する電池	撮影枚数
付属の電池または市販のPanasonicアルカリ乾電池	約 400 枚
満充電された Panasonic ニッケル水素電池（別売 /HHR-3PPS）	約 850 枚

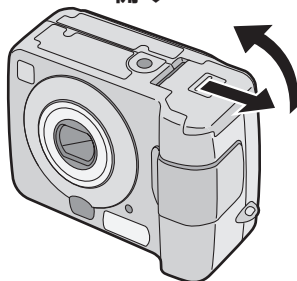
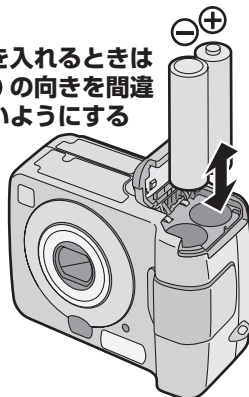
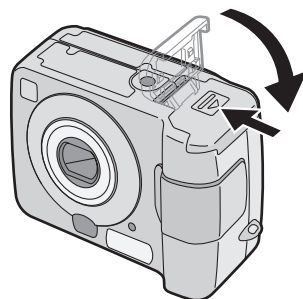
- 液晶モニターを消灯した状態で使用すると、電池寿命が長くなります。

再生時間

使用する電池	再生時間
付属の電池または市販のPanasonicアルカリ乾電池	約 280 分
満充電された Panasonic ニッケル水素電池（別売 /HHR-3PPS）	約 340 分

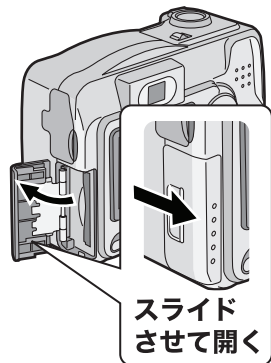
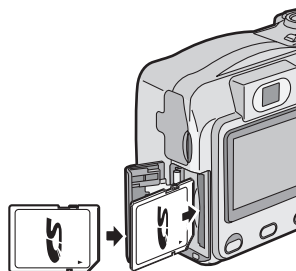
- 撮影枚数、再生時間は電池の保存状態や使用条件によって多少変わります。
- 使用する電池の銘柄、種類によっては撮影枚数、再生時間は異なります。
- 電池を長持ちさせるために、撮影の合間には電源をこまめに切ることをおすすめします。

電池を入れる・取り出す

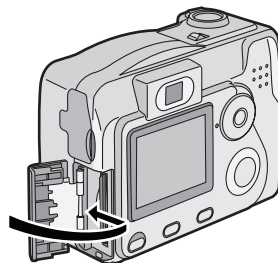
●電源が [OFF]､レンズが収納されていることを確認する。
●単３形アルカリ乾電池または単３形充電式ニッケル水素電池(別売)を使用する。

● お願い・ヒント ●

- 本機を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 新しい電池または満充電された電池を挿入して 3 時間が経過すると､電池を取り外して放置しても､最大 3ヵ月まで時計設定を記憶しています。(容量が十分でない電池を挿入した場合は、記憶時間は短くなることがあります)
  しかし、それ以上時間が経過すると設定が消えてしまいますので、もう一度時計を設定してください。(P16)
- **カードのデータが破壊される可能性がありますので､カードにアクセス中(P15)はカードや電池を取り出さないでください。**
- **設定がリセットされる可能性がありますので、電源表示ランプ(緑)が消灯してから電池を取り出してください。**

カードを入れる・取り出す

●電源が [OFF]、レンズが収納されていることを確認する。

- 電源を [ON] にしたままカードを入れたり、取り出したりすると、カードが壊れる原因になることがあります。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。(正規カード以外は使用しないでください)

「カチッ」と音がするまで奥まで入れる

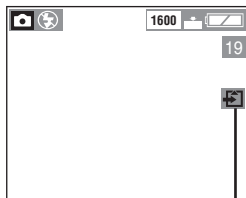
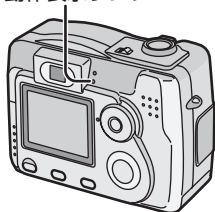
- カードの向きを確認してください。
- カードの裏の接続端子部に触れないでください。
- カードを奥まで入れないと、カードが壊れる原因になることがあります。

確実に閉じる

- メモリーカード扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出してから、もう一度入れ直してください。

- 取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜いてください。
- **カードのデータが破壊される可能性がありますので、カードにアクセス中**(P15)**はカードや電池を取り出さないでください。**

カードについて

■ カードにアクセス中は・・・

カードにアクセス（認識 / 記録 / 読み出し / 消去など）中は、動作表示ランプ（赤）とカードアクセス表示が点灯します。

動作表示ランプとカードアクセス表示が点灯しているときは、以下のことをお守りください。

- 電源を [OFF] にしない
- 電池を取り出したり、カードを抜いたりしない
- AC アダプター/DMW-AC1（別売）使用時は、本機から AC アダプターのコードを抜かない

お守りいただけない場合、カードやカードの内容が壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。

電気ノイズ、静電気、本機やカードの故障などによりカードのデータが壊れたり消失することがありますので、大切なデータはパソコン（P79）などにも保存してください。

■ SD メモリーカード（付属）と
マルチメディアカード（別売）について

SD メモリーカードとマルチメディアカードは小型、軽量で、着脱可能な外部メモリーカードです。SD メモリーカードは記録 / 読み出し速度が速く、カードへの書き込みやフォーマットを禁止する書き込み禁止スイッチを備えています。（スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットはできなくなり、戻すと可能になります）

- マルチメディアカードを使う場合、動画記録後、動作表示ランプとカードアクセス表示がしばらく点灯する場合がありますが、異常ではありません。

SD メモリーカード

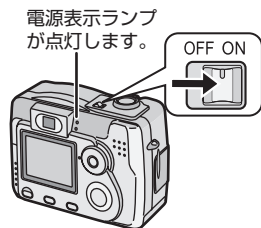
マルチメディアカード

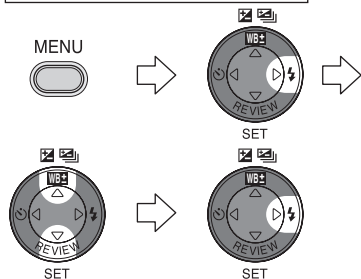
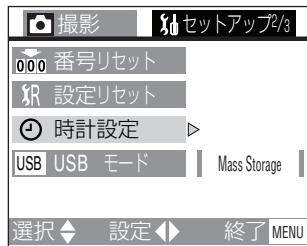
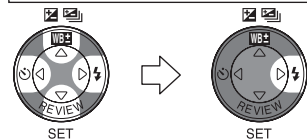
■ miniSD™ カード（別売）について

- miniSD™ カードを本機で使用する場合は、専用の miniSD™ アダプターを必ず装着してお使いください。
- miniSD™ アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。必ず、miniSD™ カードを入れてお使いください。

時計を設定する

■ お買い上げ時は…

時計設定はされていませんので、電源を [ON] にすると、下のような画面が表示されます。

- [MENU]　ボタンを押すと 2 の画面が表示されますので、時計を設定してください。
- 約５秒経過すると画面が消えますので、1 から操作し、時計を設定してください。

1

セットアップメニューから [時計設定] を選ぶ（P20）

年月日と時刻を合わせる

- ◀/▶ ：合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選ぶ
- ▲/▼ ：年月日、時刻を設定する

3

表示の順番を選ぶ

- 表示順を変えると、以下のように表示されます。
  （例：2004 年 4 月 1 日 12 時 58 分）
  - [年 / 月 / 日]：2004.4.1 12:58
  - [日 / 月 / 年]：12:58 1.APR.2004
  - [月 / 日 / 年]：12:58 APR.1.2004
- 設定終了後、[MENU] ボタンを 2 回押して、メニューを終了してください。
- そのあと、一度電源を [OFF] にしてから、もう一度 [ON] にして、設定どおり表示されているか確認してください。

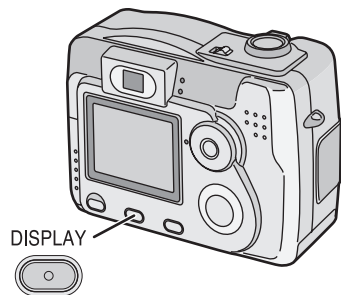
■ 日付プリントについて

時計設定をすることによって、撮影した日時をプリントすることができます。

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「SD Viewer for DSC 」をお使いの場合は、日付位置の設定をするとプリントできます。詳しくは別冊の「パソコン接続編」をお読みください。
- お店にデジタルプリントを依頼するときは、DPOF プリント設定で日付プリントの設定をするか（P64）、日付をプリントすることを別途指定してください。詳しくは、お店にお尋ねください。ただし、お店によっては、日付をプリントできない場合があります。
- 本機とプリンターを直接接続してプリントするときの日付プリントについては、81 ～ 84 ページをお読みください。

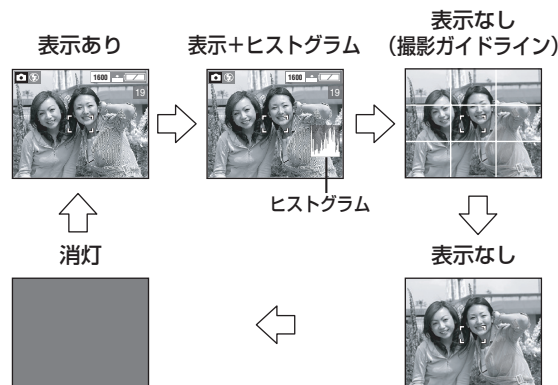
● お願い・ヒント ●

- 年は2000年から2099年まで設定できます。時刻は24時間表示です。
- 新しい電池または満充電された電池を挿入して3時間が経過すると、電池を取り外して放置しても、最大 3ヵ月まで時計設定を記憶しています。（容量が十分でない電池を挿入した場合は、記憶時間は短くなることがあります）
  しかし、それ以上時間が経過すると設定が消えてしまいますので、もう一度時計を設定してください。

液晶モニターの表示を切り換える

[DISPLAY] ボタンを押して切り換えてください。

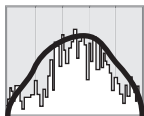
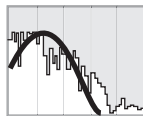
●メニュー画面表示時は [DISPLAY] ボタンは働きません。マルチ再生時(P36)および再生ズーム時(P37)は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

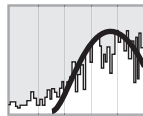
■ かんたんモード [♥] 時

■ 撮影時

■ 再生時

■ ヒストグラムについて

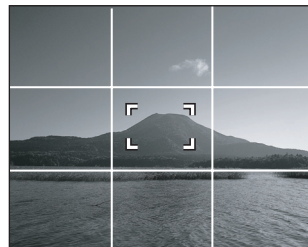
- ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。
- 撮影した画像のヒストグラムの形状（グラフの分布）を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。
  - 中央を中心とした山になっている場合は、暗い部分、中間調、明るい部分がバランスよく分布した適正露出の画像となります。
  - 極端に左に寄っている場合は、暗い部分が多すぎるアンダー気味の画像となります。夜景など黒いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。
  - 極端に右に寄っている場合は、明るい部分が多すぎる露出オーバー気味の画像となります。白いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムのグラフとなります。

適正な明るさの画像

ヒストグラム

明るい画像

● お願い・ヒント ●

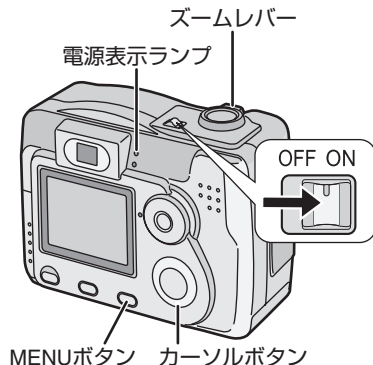
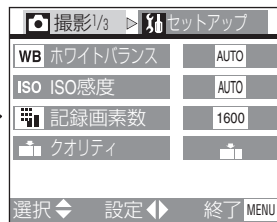
- **フラッシュ発光時や暗い場所での撮影時には、撮影画像とヒストグラムが一致しないため、ヒストグラムが黄色で表示されます。**
- 動画モード [ ]、マルチ再生、再生ズーム時はヒストグラムは表示されません。
- 撮影時のヒストグラムはめやすです。
- 撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。

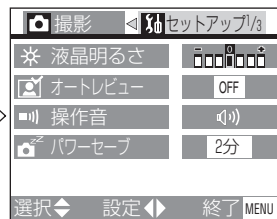
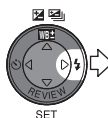
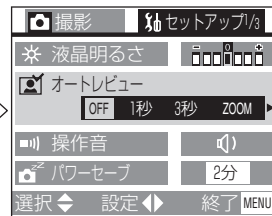
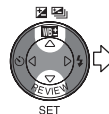
■ 撮影ガイドラインについて

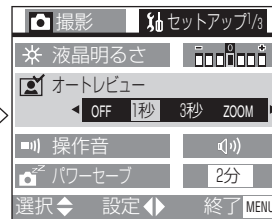
被写体を縦横の交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。

セットアップメニューを設定する

かんたんモード[♥]時のメニュー画面は異なります。

電源を[ON]にする

● 電源表示ランプ（緑）が点灯します。

メニュー画面を開く

● かんたんモード[♥]時のメニュー画面は異なります。（P41）

[セットアップ]を選ぶ（黄色表示にする）

項目を選ぶ

● ズームレバーを回すと、1/3、2/3、3/3ページが切り換わります。

設定する

● 設定終了後、[MENU]ボタンを押して、メニューを終了してください。

セットアップメニューについて

項目	設定内容
液晶明るさ	液晶モニターの明るさを 7 段階に調整できます。
オートレビュー （撮影メニューのみ）	• OFF:　撮影後に撮影画像が自動的に表示されません。 • 1 秒 :　撮影後に撮影画像が約 1 秒間表示されます。 • 3 秒 :　撮影後に撮影画像が約 3 秒間表示されます。 • ZOOM:　撮影後に撮影画像が約 1 秒間表示されます。そのあと、4 倍に拡大された画像が約 1 秒間表示されます。ピントの確認に便利です。 • オートレビューの設定に関わらず、連写、オートブラケットのときは、カード記録中にオートレビューされます。（拡大はされません） • オートレビューの設定に関わらず、音声付き静止画（P53）は、音声記録中とカード記録中にオートレビューされます。（拡大はされません） • 動画モード [ ] では設定できません。
操作音	操作音の音量を設定します。 • ：　操作音を出します。　• ：操作音を小さくします。　• ：　操作音を消します。
パワーセーブ （エコモードを除く）	使用していない間、電源を自動的に切ることで、電池の寿命を延ばします。 • 1 分 /2 分 /5 分 /10 分 : 設定した時間の間に何も操作しないとパワーセーブモード（電源 [OFF] と同様の状態）になります。電源 [ON] の状態に戻すには、シャッターボタンを押すか、または電源を [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください。 • OFF:　パワーセーブモードになりません。 • AC アダプター /DMW-AC1（別売）使用時、パソコン接続時、プリンター接続時、動画撮影 / 再生時、スライドショー中はパワーセーブは働きません。
エコモード （エコモードのみ）	使用していない間、液晶モニターを自動的に消灯することで、電池の寿命を延ばします。 エコモード [ ]（P44）で、液晶モニターが消灯する条件を設定します。 • LEVEL1: 約 15 秒間何も操作をしないと、液晶モニターが消灯します。 • LEVEL2: 約 15 秒間何も操作をしない、または撮影後、約 5 秒間何も操作しないと、液晶モニターが消灯します。

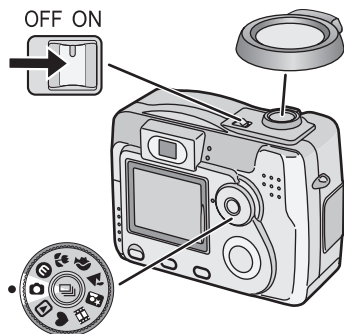
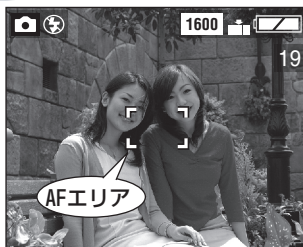
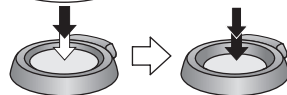
セットアップメニューについて（つづき）

項目	設定内容
番号リセット（撮影メニューのみ）	次に撮影される画像のファイル番号を 0001 から記録したい場合に設定します。（フォルダー番号が更新され、ファイル番号が 0001 から始まります） • フォルダー番号は 100 ～ 999 まで作成されます。フォルダー番号が 999 になると番号リセットができなくなりますので、カードのデータをパソコンなどに保存してフォーマット（P75）することをおすすめします。 • フォーマットされたカードまたは新しいカードを入れて、番号リセットを実行すると、ファイル番号のリセット後、フォルダー番号のリセットについての確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、フォルダー番号のリセットが行われ、フォルダー番号が 100 になります。
設定リセット（撮影メニューのみ）	撮影設定またはセットアップ設定をお買い上げ時の状態に戻します。ファイル番号、時計設定、かんたんモードの設定内容は変わりません。
時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。（P16）
USB モード	USB の通信方式を設定します。パソコンやプリンターに接続する前に設定してください。（P77）
ビデオ出力（再生メニューのみ）	• NTSC:　ビデオ出力を NTSC 方式にします。 • PAL:　ビデオ出力を PAL 方式にします。（P99）
言語設定	メニュー画面は以下の 7 言語表記に設定できます。◀/▶ で言語を選び、▼ で決定してください。誤って他の言語に設定した場合は、メニューアイコンの [i+] を選び言語設定をしてください。 ENGLISH：英語　DEUTSCH：ドイツ語 FRANÇAIS：フランス語　ESPAÑOL：スペイン語 ITALIANO：イタリア語　中文：中国語（簡体語） 日本語

● お願い・ヒント ●

● ［操作音］、［番号リセット］、［言語設定］は、かんたんモードにも反映されます。

撮影してみましょう（通常撮影モード [カメラ]）

- 電池を入れる。（P13）
- カードを入れる。（P14）
- 電源を [ON] にする。
- モードダイヤルを回して、通常撮影モード [カメラ] に合わせる。

- 電源表示ランプ（緑）が点灯します。点滅した場合は、電池残量がありません。新しい電池または満充電された電池を入れてください。
- 動作表示ランプ（赤）が点滅した場合は、カードが入っていないか、撮影残り枚数/時間がない可能性があります。

ピントを合わせたい位置に AF エリアを合わせる

ピントを合わせて撮影する

	ピントが合っていないとき	ピントが合ったとき
フォーカス表示	点滅（緑）	点灯（緑）
AF エリア	白→赤	白→緑

撮影してみましょう（通常撮影モード ）（つづき）

■ 本機の取り扱いについて

- レンズ面に汚れや、ほこりが付いていないか確認してください。
- レンズ面に直接触れないでください。
- レンズおよびレンズ鏡筒に衝撃を与えないでください。（取り扱いにお気を付けください）
- 撮影モードで電源を入れるときは、レンズ鏡筒が出ますので、レンズの前に障害物がないところで行ってください。
- レンズの表面を触ったり汚さないようにしてください。汚れたり砂などが付いたときは、市販のブロワーブラシでほこりや砂などを払い、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。ベンジン、アルコール、シンナーなどの溶剤を使用すると、変色や破損の原因となります。
- 浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないように、また海水などでぬらさないようにしてください。

■ 上手に撮る姿勢

手持ちでぶれのない写真を撮影するために

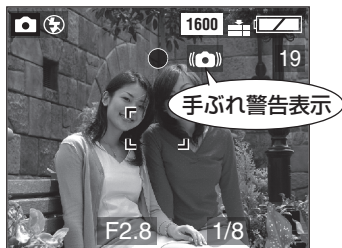
- 両手で本機を軽く持ち、脇をしめて構える
- シャッターボタンを半押ししているとき、ぶれが収まっていることを確認する
- シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定する
  特に以下の場合には、長い間固定してください。
  - 赤目軽減スローシンクロ（P29）
  - 夜景ポートレートモード（P46）

■ ピントについて

- 50 cm まで、ピントが合います。
- シャッターボタンを一度に全押しすると、手ぶれをしたり、ピントが合わなかったりします。
- フォーカス表示が点滅しているときはピントが合っていませんので、もう一度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- フォーカス動作中およびピントが合っていないとき、動作表示ランプ（赤）が点滅します。
- ピントが合うと「ピピッ」と、合わない場合は「ピピピピッ」と音が鳴ります。操作音を消したいときは21 ページをお読みください。
- 以下のような場合、通常撮影モードではピントがうまく合いません。
  ❶遠くと近くのものを同時に撮る
  ❷汚れたガラスの向こうのものを撮る
  ❸キラキラと光るものが周りにある
  ❹暗い場所を撮る
  ❺動きの速いものを撮る
  ❻コントラスト（濃淡）の少ないものを撮る
  ❼手ぶれしている
  ❽高輝度（非常に明るいもの）を撮る

  置きピン（P53）または AF/AE ロック（P26）を使って撮影することをおすすめします。
- フォーカス表示が出てピントが合っても、シャッターボタンを離すとピントが解除されます。もう一度半押ししてください。

■ 手ぶれについて

- シャッターボタンを押し込む際には、手ぶれにお気を付けください。
- 手ぶれしやすいときは、手ぶれ警告表示が出ます。

- 手ぶれ警告表示が出ているときは、三脚の使用をおすすめします。または撮る姿勢（P24）にお気を付けください。

■ 露出について

- 適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値の色が赤色になります。（ただし、フラッシュ発光時は赤くなりません）

- 液晶モニターの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。特に暗い場所でスローシャッターで撮影するときなどは、液晶モニター上は暗く写りますが、実際は明るく撮れます。
- 晴天の空や雪など、明るい被写体が画像の大部分を占めると、暗く撮影される場合があります。その場合は、露出補正を行ってください。（P31）

撮影してみましょう（通常撮影モード ）（つづき）

■ AF/AE ロックについて

AF：
「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能です。
AE：
「Auto Exposure」の略で、被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能です。

上のような構図で人物の写真を撮影したい場合、被写体が AF エリアから外れているので、そのままシャッターボタンを押すだけでは背景などにピントが合ってしまい、被写体にピントが合いません。

このようなときは、
❶被写体に AF エリアを合わせる
❷シャッターボタンを半押しし、ピントと露出を固定する
- ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。

❸シャッターボタンを半押ししたまま、撮りたい構図に本機を動かす
❹シャッターボタンを全押しする
- AF/AEロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

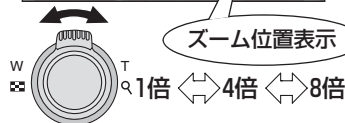
● お願い・ヒント ●

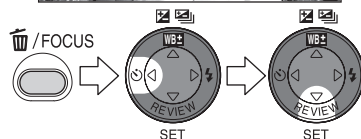
- **ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から「カチッ」と音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わることがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。**
- シャッターボタンを押すと、一瞬液晶モニターの画面が明るくなり、白っぽくなる場合があります。これはピントを合わせやすくするためで、記録される画像に影響はありません。
- 撮影前に、時計設定を確認することをおすすめします。(P16)
- パワーセーブの時間が設定されているとき（P21）は、設定された時間内に本機の操作をしないと自動的に電源が切れます。再び本機の操作をするときは、シャッターボタンを押すか、電源を[OFF]にしてからもう一度[ON]にしてください。
- 光学ファインダーを使用する場合、実際に撮影される範囲は、光学ファインダーから見える範囲よりも少し広くなりますので、お気を付けください。これは光学ファインダーとレンズの位置が異なるためで、異常ではありません。
特に以下の場合は、液晶モニターによる撮影範囲の確認をおすすめします。
  - 1 m 以内の被写体を撮影するとき
  - マクロモード時（P44）
  - デジタルズーム使用時（P54）

撮影した画像を確認する（レビュー）

1

- 最後に撮影した画像が約 10 秒間表示されます。
- シャッターボタンを半押しするか、▼を押すとレビューが解除されます。
- ◀/▶ を押すと前後の画像を確認することができます。
- 撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎたりしたときは、露出補正を行ってください。（P31）

2

- 倍率を変えたり、表示する位置を移動させると、約 1 秒間、ズーム位置表示が表示され、拡大部分の位置を確認することができます。

■ 撮影した画像をレビュー中に削除する（クイック削除）

- 画像は一度削除すると元に戻すことができません。よく確認してから削除してください。
- 複数・全画像削除もできます。削除の方法については 39 、40 ページをお読みください。

大きく（望遠）または広く（広角）撮る

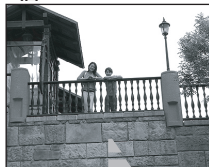
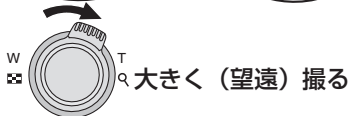
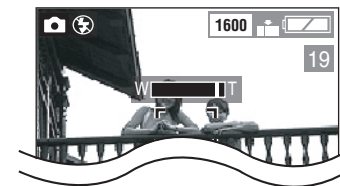
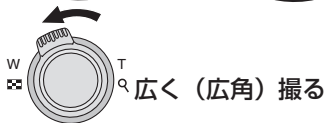
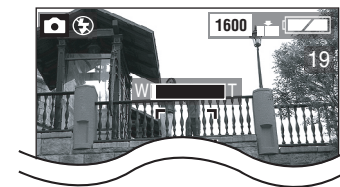
光学ズーム 3 倍までの範囲で、人や物を大きく撮ったり風景などを広角に撮ることができます。

1倍

2倍

3倍

広く（広角）撮る

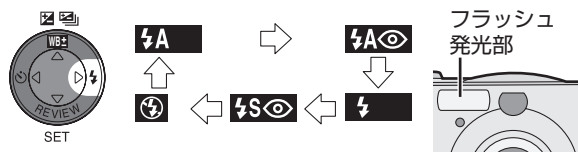
大きく（望遠）撮る

お願い・ヒント

- 画像はレンズによってわずかにゆがんで撮影されます。
  これをディストーション（歪曲収差）といいます。
  広角にして近づくほどディストーションは大きくなります。

内蔵フラッシュを使って撮る

フラッシュを設定すると、撮影状況に応じて、内蔵フラッシュを使って撮影できます。

■ フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、内蔵フラッシュの発光のしかたを設定します。

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって、異なります。（○：設定可、×：設定不可）

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⊘
📷	○	○	○	○	○
E	○	○	○	○	○
🌷	○	○	○	○	○
👤	○	○	○	×	○
⛰	×	×	×	×	○
★👤	×	×	×	○	○
🎞	×	×	×	×	○
♥	×	○	○	×	○

項目	設定内容
⚡A： **オート**	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
⚡A◎： **赤目軽減オート（白色）**	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。フラッシュが予備発光して、人の瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえ、1秒後、撮影のために再び発光します。 ● **暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。**
⚡： **強制発光**	フラッシュを強制的に発光させます。 ● **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。**
⚡S◎： **赤目軽減スローシンクロ（黄色）**	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。 ● **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。**
⊘： **発光禁止**	暗い場所でもフラッシュが発光しません。 ● **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。**

内蔵フラッシュを使って撮る（つづき）

■ フラッシュで撮影できる範囲

ISO 感度	フラッシュで光が届く範囲
ISO50	30 cm ～ 1.6 m（W 端時）/50 cm ～ 1 m（T 端時）
ISO100	30 cm～2.4 m（W端時）/50 cm～1.4 m（T端時）
ISO200	30 cm ～ 3.3 m（W 端時）/50 cm ～ 2 m（T 端時）
ISO400/AUTO	30 cm～4.8 m（W端時）/50 cm～2.8 m（T端時）

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード	
フラッシュ ON	1/60 ～ 1/2000（[4S◎] 時は除く）	
フラッシュ OFF	ISO AUTO	1/8 ～ 1/2000（夜景ポートレート時：8 ～ 1/2000）
	ISO50/100/200/400	2 ～ 1/2000（夜景ポートレート時：8 ～ 1/2000）

● お願い・ヒント ●

- 風景モード[ ]または動画モード[ ]のときは、発光禁止[ ]に固定されます。
- ISO AUTO に設定すると、自動的に ISO 感度を ISO50 ～ ISO400まで高くしていきます。ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くしてお使いください。（P51）
- 手ぶれ警告表示が出ているときは、フラッシュの使用をおすすめします。

フラッシュ使用時は…

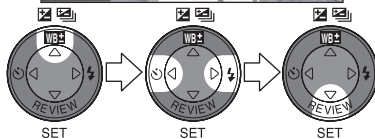
- **近くで発光部を直接見ないでください。**
- **フラッシュ発光部に物を密着させると熱や光で変形、変色する場合があります。**
- **フラッシュ発光部を指などでふさがないでください。**
- 近くで撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合があります。
- 連写およびオートブラケット設定時でフラッシュが発光する場合、1 枚しか撮影できません。
- フラッシュが発光する場合、シャッターボタンを半押ししたときにフラッシュマークが赤に変わります。また、動作表示ランプ（赤）が点灯します。
- フラッシュ充電中は、動作表示ランプとフラッシュマークが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- 電池の残量表示が[ ]以下になる、またはエコモード[ ]のときは、フラッシュ充電時、液晶モニターが消灯します。
- フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に適したホワイトバランスが自動的に設定されますが（[☀（晴天）] 以外）、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- ノイズが気になるときは、画質調整を [ナチュラル]（P55）にすることをおすすめします。
- フラッシュ発光禁止 [ ] 時、暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、動作表示ランプが点滅し、光量が不足していることを示します。フラッシュを発光させるか、ISO 感度を高くすることをおすすめします。（P51）

露出を補正して撮る

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出補正＋2 EVの場合

露出補正 0 EVの場合

露出補正ー2 EVの場合

[露出補正] を選び、露出を補正する

- −2 EVから＋2 EVの範囲で1/3 EVごとに補正できます。

● お願い・ヒント ●

- EVとはExposure Valueの略で、露出量を表す単位です。
  絞り値またはシャッタースピードが変化すると EV が変化します。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- 露出補正値は、液晶モニターの左下に表示されます。
- 設定した露出補正量は、電源を [OFF] にしても記憶しています。

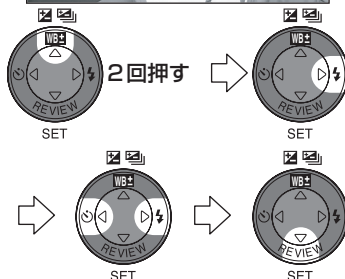
露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）

1 回シャッターを押すと、露出の補正幅に従って自動的に 3 枚撮影します。露出が異なる 3 枚の画像の中からお好きな露出の画像を選ぶことができます。

オートブラケット ±1 EV の場合

±0 EV

ー1 EV

＋1 EV

[オートブラケット]を選び、露出の補正幅を決める

- 0(OFF)、±1/3 EV、±2/3 EV、±1 EV から選ぶことができます。
- オートブラケット撮影しない場合は [OFF] を選んでください。

お願い・ヒント

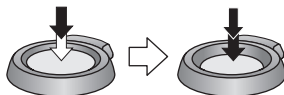
- オートブラケットを設定すると、液晶モニターの左下にオートブラケットアイコンが表示されます。
- 一度撮影すると自動的に解除されます。
- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。露出が補正されているときは、露出補正値が表示されます。
- フラッシュが発光する場合は 1 枚しか撮れません。そのとき、オートブラケットの設定は解除されません。
- オートブラケットを設定すると、音声付き静止画を撮ることができません。
- 連写とオートブラケットが同時に選ばれている場合は、オートブラケットが優先されます。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。

セルフタイマーを使って撮る

1

(10秒) ⇨ (2秒)
⇧ 表示なし(解除) ⇦

セルフタイマー設定を切り換える

2

ピントを合わせて撮影する

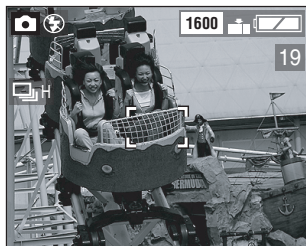
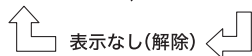
- セルフタイマー動作中に[MENU]ボタンを押すと、セルフタイマー設定が解除されます。

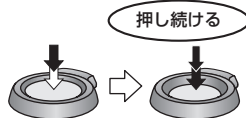
● お願い・ヒント ●

- セルフタイマーを 2 秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラぶれを防ぐのに便利です。
- セルフタイマーランプが点滅し、10 秒（または 2 秒）後に撮影動作が開始されます。

- 一度に全押しすると、セルフタイマーランプが消えたあと、ピントを自動的に合わせます。
- かんたんモード [♥] のときは、セルフタイマーが 10 秒のみの設定になります。
- 連写のときはセルフタイマーを設定すると 1 枚しか撮影できません。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。

連写にして撮る

1

連写設定を切り換える

2

撮影する

- シャッターボタンを押し続けると連続撮影されます。

お願い・ヒント

連写速度	H	3.3 コマ / 秒
	L	2 コマ / 秒
連写枚数	ファイン	最大 3 コマ（※）／最大 5 コマ
	スタンダード	最大 5 コマ（※）／最大 10 コマ

※ 2304×1728 画素撮影時

- 1 秒間に 3.3 コマ連写できるのは、シャッタースピードが 1/60 よりも速く、フラッシュを発光させない場合です。
- フラッシュが発光する場合は 1 枚しか撮影できません。
- かんたんモード [♥] のときは、低速に固定されます。（P42）
- 連写設定していると、音声付き静止画を撮影できません。
- 連写とオートブラケットが同時に選ばれている場合は、オートブラケットが優先されます。

画像を再生する（再生モード ▶）

画像を送る

● 最後に撮影した画像の次は、最初の画像になります。

■ 早送り / 早戻しする

再生中に ◀/▶ を押し続けると、ファイル番号とページ番号のみが更新されます。再生したい画像の番号が表示されたときに ◀/▶ を離すと、その番号の画像が表示されます。

▶：早送り

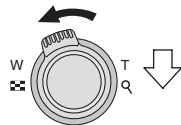
◀：早戻し

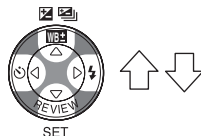
● ◀/▶ を押し続けた時間によって、一度に送る画像枚数が増加します。撮影枚数によって、送り枚数は異なります。
● ◀/▶ を離すと、送り単位はもう一度 1 枚単位から開始します。
● 撮影モード時のレビュー再生や、マルチ再生では、1 枚単位でしか早送り / 早戻しはできません。
● 大きい単位で画像を早送り / 早戻しをしているときは、再生したい画像の手前で一度 ◀/▶ を離すと、小さい単位で早送り / 早戻しができます。

● お願い・ヒント ●

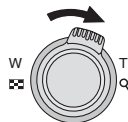
● 本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
● パソコンでフォルダー名やファイル名を変更すると再生できない場合があります。
● 本機で再生できるファイル形式は JPEG です。（JPEG 形式でも再生できないものもあります）
● 他機で撮影された静止画を再生すると、画質が劣化したり、再生できない場合があります。
● 規格外のファイルを再生したときはフォルダー / ファイル番号が [—] で表示され、画面が黒くなる場合があります。

画像を9画面表示にする（マルチ再生）

1

9 画面表示にする

2

画像を選ぶ

■ 1 画面表示に戻す

[🔍] の方に回してください。

- 黄色で表示された番号の画像が 1 画面表示されます。

■ マルチ再生中に画像を削除する

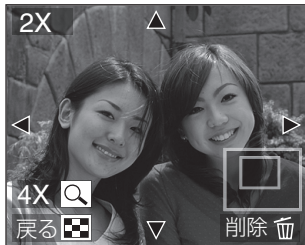
[🗑] ボタンを押してください。
確認画面が表示されますので、◀ で [はい] を選び、▼/[REVIEW/SET] ボタンを押してください。（P38）

再生画面を拡大する（再生ズーム）

1

画像を拡大する

- 拡大したあと、ズームレバーをW側に回すと、倍率が小さくなります。
- 倍率を変えると、約1秒間、ズーム位置表示が表示され、拡大部分の位置を確認することができます。
- [MENU]ボタンを押すと、1倍に戻ります。

2

位置を移動する

- 表示する位置を移動させると、約1秒間、ズーム位置表示が表示されます。

■ 再生ズーム中に画像を削除する

[] ボタンを押してください。
確認画面が表示されますので、◀ で [はい] を選び、▼/[REVIEW/SET] ボタンを押してください。（P38）

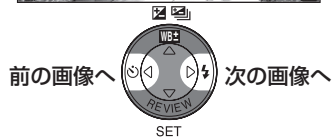
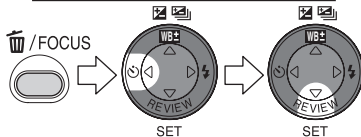
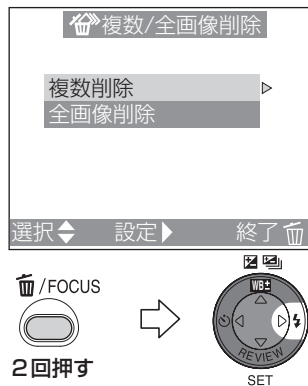
● お願い・ヒント ●

- 再生ズームは、拡大するほど画質が劣化します。
- 他機で撮影した画像を再生ズームできない場合があります。
- 通常の再生で液晶モニターの表示を表示なしにしていても（P18）、再生ズーム時は、倍率や操作方法が表示されます。[DISPLAY] ボタンを押すと、表示ありと表示なしを切り換えることができます。1 倍に戻すと、通常の再生での表示に戻ります。

画像を削除する

1 枚削除

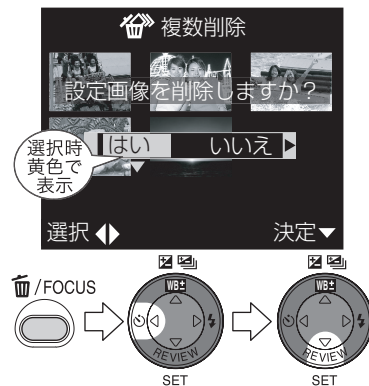
画像を選ぶ

2

削除する

複数削除

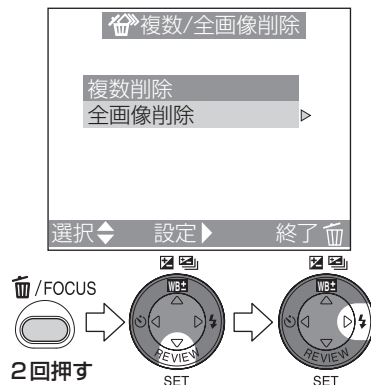
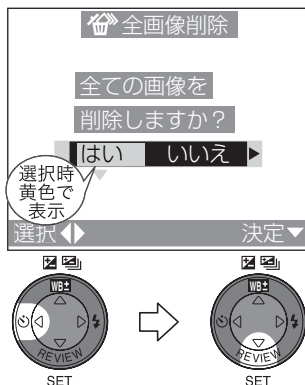
[複数削除] を選ぶ

画像を選び、設定する

- 設定した画像に [ ] が表示されます。もう一度 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- プロテクトされていると、設定した画像の [ ] アイコンが赤く点滅し、画像を削除できません。プロテクト設定を解除しておいてください。(P60)

削除する

- 一度に削除できるのは 50 枚までです。

画像を削除する（つづき）

全画像削除

[全画像削除] を選ぶ

削除する

お願い・ヒント

- 画像は一度削除すると元に戻すことができません。よく確認してから削除してください。
- プロテクトされた画像（P60）、DCF規格外のファイル（P35）は削除されません。
- 削除中は電源を [OFF] にしたり、カードを抜いたりしないでください。
- 削除するときは、十分に残量のある電池（P10）または AC アダプター /DMW-AC1（別売）を使用してください。

用途別かんたんメニューで撮る（かんたんモード♥）

用途に応じて最適な設定を本機が選び、シーンに合った撮影が手軽にできます。

ホワイトバランスとかメニューの設定ってよくわからないなぁ・・・？

そんなときは「かんたんモード」にしてみるんじゃ
必要なメニューだけが表示されるから迷うこともないぞ

モードダイヤルをかんたんモードに合わせて…

メニューボタンを押す

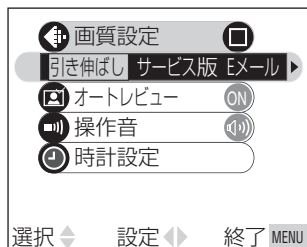
画質設定も引き伸ばし、サービス版、Eメールと用途に合わせた表示だからピンと来るじゃろ？

うん。確かにかんたんね

初めての人に撮ってもらうときにも便利じゃ

次のページがかんたんモードのメニュー設定じゃ

用途別かんたんメニューで撮る（つづき）

■ かんたんモードのメニュー設定

項目	設定内容
画質設定	• 引き伸ばし（■）：A3 や A4 などの大きめのサイズにプリントするときに最適です。 • サービス版（■）：サービスサイズ（L 版）の大きさにプリントするときに最適です。 • E メール（■）：電子メールの添付画像やホームページ用画像などに使用するときに最適です。
オートレビュー	• ON:　撮影後に撮影画像を約 1 秒間表示。 • OFF:　自動的に表示されません。
操作音	• ■: 操作音を出します。 • ■: 操作音を小さくします。 • ■: 操作音を消します。
時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。（P16）

■ かんたんモード時の設定内容

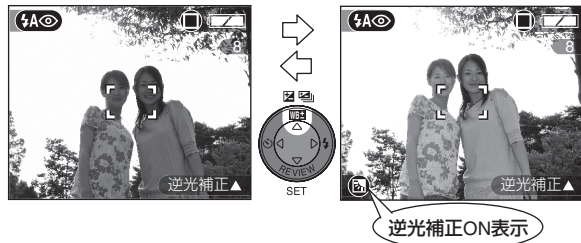
かんたんモード時は、その他の設定項目が以下のように設定されます。詳しくは、それぞれのページをお読みください。

項目	設定内容
撮影可能範囲	50 cm 〜∞（T 端時） 10 cm 〜∞（W 端時） ● 被写体までの距離が撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していてもピントが合ってない場合があります。
液晶明るさ（P21）	標準 [0]
パワーセーブ（P21）	2 分
セルフタイマー（P33）	10 秒
連写速度（P34）	低速（2 コマ / 秒）
ホワイトバランス（P49）	AUTO
ISO 感度（P51）	AUTO
画質設定（記録画素数 / クオリティ）（P51, 52 ）	● 引き伸ばし（■）： 2304×1728 / ファイン ● サービス版（■）： 1280×960 / ファイン ● E メール（■）： 640×480 / スタンダード
AF 駆動（P53）	シャッター

■ かんたんモード時の逆光補正

逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、人物など被写体が暗く写ります。

▲ を押すと、[ ] (逆光補正 ON 表示) が表示され、逆光補正が働きます。画像全体を明るくすることにより、逆光を補正します。

逆光補正ON表示

● [ ] が表示されているときに ▲ を押すと、[ ] が消え、逆光補正が解除されます。

● お願い・ヒント ●

● かんたんモード時は、次の設定ができません。
- 番号リセット
- 設定リセット
- USB モード
- ビデオ出力
- 言語設定

ただし、セットアップメニュー（P21）での [番号リセット]、[言語設定] は、かんたんモードに反映されます。

● [時計設定]、[操作音] 以外のかんたんモードでの設定内容は他の撮影モードには反映されません。

● かんたんモード時は、次の機能が使えません。
- 露出補正
- オートブラケット
- 記録画素数
- クオリティ
- スポットモード
- 音声記録
- デジタルズーム
- カラーエフェクト
- 画質調整
- コマ撮りアニメ

ただし、[記録画素数] と [クオリティ] は、[画質設定] の設定に対応しています。

消費電力を節約して撮る（ⓔ）

■ 消費電力を節約して撮る（エコモードⓔ）

エコモードでは、液晶モニターの明るさを落とし、以下のように動作します。その他の動作は、通常撮影モード［📷］（P23）と同じです。

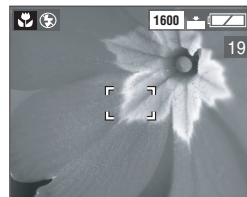
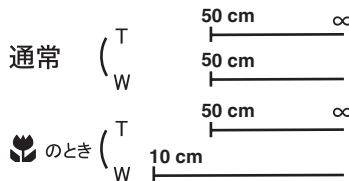
条件	動作
15 秒間、何も操作しない	● 「液晶オフ」メッセージが点滅し、液晶モニターが消灯する **復帰方法** いずれかのボタンを押す
撮影後、5 秒間、何も操作しない（セットアップメニューの「エコモード」を [LEVEL2] に設定したときのみ有効）（P21）	
2 分間、何も操作しない（パワーセーブ）	電源が切れる（パワーセーブモードに入る） **復帰方法** ● シャッターボタンを押す ● 電源を[OFF]にしてからもう一度 [ON] にする

● お願い・ヒント ●

- 液晶モニターは、フラッシュ充電中にも消灯します。
- メニュー画面表示中やセルフタイマー設定中は、エコモードは働きません。

接近して撮る（🌷）

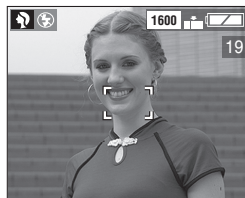
■ 接近して撮る（マクロモード🌷）

花などをアップにして撮りたいときに合わせてください。レンズから 10 cm（W 端）まで接近して撮影できます。

● お願い・ヒント ●

- マクロモード時は、三脚の使用をおすすめします。
- 被写体までの距離が撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- マクロモード時、光学ファインダー内は撮影範囲とのずれが生じます。液晶モニターを使用してください。
- フラッシュで撮影できる範囲は、約 30 cm 〜 4.8 m（W 端時）、約 50 cm 〜 2.8 m（T 端時）（ISO400/AUTO 設定時）です。

人物を撮る（ ）

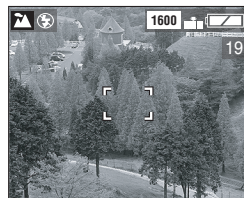
■ 人物を撮る（ポートレートモード ）

人物を引き立て、露出と色調が調整されます。ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くし、遠くにある背景を選ぶとより効果が出ます。

● お願い・ヒント ●

- 昼間の屋外での撮影に適しています。
- ポートレートモード時のホワイトバランスの[AUTO]設定は、昼間の屋外での撮影を重視しているため、屋内で使用すると色合いが変わる場合があります。
- ホワイトバランスは、お好みによりメニューで変更することができます。（P49）
- 露出や色調を変更したいときは、露出補正（P31）や画質調整（P55）を行ってください。

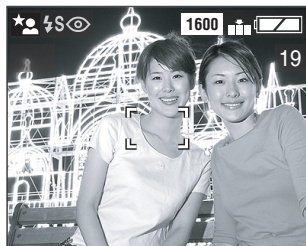
遠くの風景を撮る（ ）

■ 遠くの風景を撮る（風景モード ）

遠くの風景をきれいに撮りたいときに合わせてください。屋外で被写体までの距離が3 m 以上のときに最適です。窓ガラス越しでも、遠くの風景を撮影することができます。

● お願い・ヒント ●

- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。
- ピントが合う範囲は、約 3 m ～∞です。
- 風景モード時のホワイトバランスの[AUTO]設定は昼間の屋外での撮影を重視しているため、屋内で使用すると色合いが変わる場合があります。
- ホワイトバランスはお好みによりメニューで変更することができます。（P49）

夜景を背景に撮る（夜景ポートレートモード ）

夜景を背景に人物などを撮りたいときに合わせてください。
フラッシュとスローシャッターを使うことにより、人物とともに背景も見た目に近い明るさになります。

■ 夜景ポートレートモード時のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
：赤目軽減スローシンクロ	1 〜 1/2000
：発光禁止	8 〜 1/2000

■ 夜景ポートレート撮影のテクニック

- スローシャッター（シャッタースピードは最大 1 秒）になるため、三脚の使用をおすすめします。
- 被写体の人に、撮影後約 1 秒間は動かないように伝えてください。
- 被写体をフラッシュで撮影できる範囲（約 50 cm 〜 4.8 m（W 端時）、約 50 cm〜2.8 m（T端時）（ISO400/AUTO 設定時）で撮影してください。
- ズームレバーを W 側に回して撮影することをおすすめします。
- ピントが合う範囲は約 1 m 〜 3 m です。

■ 夜景だけを撮影する場合

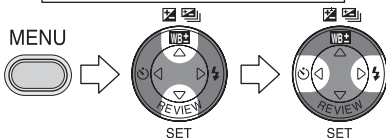
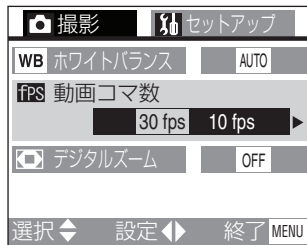
- フラッシュを発光禁止 [ ] に設定すると、スローシャッター（最大約 8 秒）になり、夜景だけを撮影することができます。
- ピントが合う範囲は約 3 m 〜∞です。

お願い・ヒント

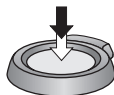
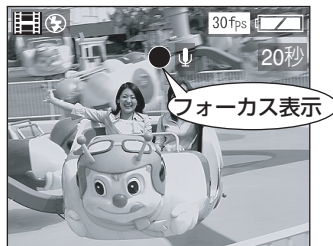
- フラッシュ設定時は、赤目軽減スローシンクロ [ ] に固定されます。
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約 8 秒）になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。
- 夜景ポートレートモードでは、夜景だけを撮影する場合のみ、フラッシュを発光禁止 [ ] に設定してください。この設定で人物などを撮影すると、ホワイトバランスの [AUTO] 設定の働きで、色合いが変わります。
- ホワイトバランスはお好みによりメニューで変更することができます。（P49）
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、画質調整を [ナチュラル]（P55）にすることをおすすめします。
- 暗い場面で撮影すると、ピントが合いにくくなることがあります。なるべく明るく、コントラスト（濃淡）のあるところで AF/AE ロック（P26）を使って撮影することをおすすめします。

動画を撮る（動画モード ）

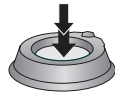
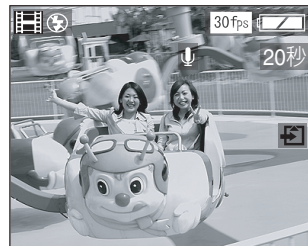
動画撮影時は、本機の内蔵マイクより、音声も同時に記録されます。

1

[動画コマ数] を選び､設定する

- [30 fps]：動画をよりなめらかに撮影することができます。
- [10 fps]：なめらかさには欠けますが、ファイルサイズが小さいので長時間撮影することができます。
- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

2

シャッターボタンを半押しする

- ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。
- 残り撮影時間（めやす）が表示されます。

3

撮影を開始する

- もう一度シャッターボタンを全押しすると、撮影が終了します。
- 記録途中でカードのメモリーがいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

動画を撮る（動画モード 🎞 ）（つづき）

■ 撮影可能時間

	動画コマ数	
SD メモリーカード容量	10 fps	30 fps
16 MB	約 75 秒	約 25 秒
32 MB	約 160 秒	約 55 秒
64 MB	約 350 秒	約 120 秒
128 MB	約 720 秒	約 240 秒
256 MB	約 1450 秒	約 480 秒
512 MB	約 2950 秒	約 1020 秒

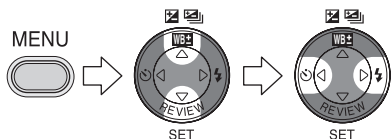
●残り撮影時間が液晶モニターに表示されます。
●撮影可能時間はめやすです。

● お願い・ヒント ●

- **本機のみでの音声再生はできません。音声を再生したいときはテレビ（P76）、またはパソコン（P79）に接続してください。**
- 記録画素数は 320×240 画素に固定されます。
- 音声なしに動画を記録することはできません。
- マルチメディアカードを使う場合、動画記録後、動作表示ランプとカードアクセス表示がしばらく点灯する場合がありますが、異常ではありません。
- オートフォーカス / ズーム / 絞り値は、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。
- カードの種類によっては、動画撮影のときに途中で撮影が終了する場合があります。
- 本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質、音質が劣化したり、再生できない場合があります。
- [30 fps] に対応していない機種では、[30 fps] で撮影された動画は再生できません。
- 動画モード [🎞] のときは、レビューが使えません。

撮影メニューを使う

色合いや画質調整など設定すると撮影のバリエーションが広がります。

- モードダイヤルを撮影するモードに合わせてください。

- ズームレバーを回すと、1/3、2/3、3/3 ページが切り換わります。
- 設定終了後、[MENU]ボタンを押してメニューを終了してください。

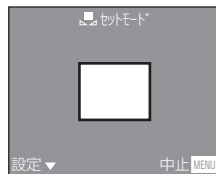
1 ホワイトバランス（WB）

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、見た目に近い白色に調整します。

項目	撮影状況
AUTO（オート）	自動で設定するとき
（晴天）	屋外晴天下で撮影するとき
（曇り）	曇天や日陰で撮影するとき
（白熱灯）	白熱灯下で撮影するとき
（セットモード）	手動で設定するとき

- [AUTO] 以外に設定すると、ホワイトバランスを微調整することができます。（P50）

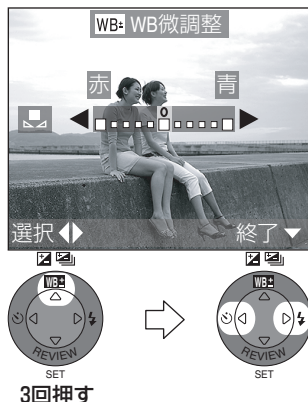
■ セットモードについて（ ）

手動でホワイトバランスを設定したいときに使用します。
（セットモード）に設定して ▶ を押してください。白い紙などに本機を向けて、画面中央の枠内が白くなるようにし、▼ を押してください。

撮影メニューを使う（つづき）

1 ホワイトバランス（WB）（つづき）

■ ホワイトバランス微調整について

ホワイトバランス（P49）を設定しても思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

● ホワイトバランスを☀/☁/-☼-/⊡に設定しておく。

▲を3回押し、[WB± WB微調整]を表示させ、◀/▶で設定してください。

- ▶：青（赤みが強い場合）
- ◀：赤（青みが強い場合）

● 設定終了後、▼/[REVIEW/SET]ボタンを押して終了します。

● お願い・ヒント ●

■ ホワイトバランスについて

● ホワイトバランスの設定は、他の撮影モードにも反映されます。

● かんたんモード[♥]のときは、[AUTO]に固定されます。

● フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に適したホワイトバランスが自動的に設定されますが（[☀（晴天）]以外）、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。

■ ホワイトバランス微調整について

● ホワイトバランスを微調整すると、ホワイトバランスアイコンが赤、または青に変わります。

● ホワイトバランスの各モードで独立して微調整することができます。

● ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。

● セットモードで新しくホワイトバランスを設定し直したときは、微調整レベルは[0]に戻ります。

● カラーエフェクト設定（P55）を[クール]、[ウォーム]、[白黒]のいずれかに設定しているときは、ホワイトバランスの微調整はできません。

2 ISO 感度（ISO）

ISO 感度とは、光に対する敏感さを数値で表したもので、数値が高くなるほど、暗い場所での撮影に適しています。

- [AUTO] を選ぶと、明るさに応じて ISO 感度を ISO50 ～ ISO200 まで自動的に高くしていきます（フラッシュ使用時は ISO50 ～ ISO400）。

ISO 感度	50 ⟷ 400	
屋外など明るい場所での撮影	適している	適していない
暗い場所での撮影	適していない	適している
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い

- かんたんモード[♥]または動画のときは、[AUTO]に固定されます。
- ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くするか、画質調整を [ナチュラル]（P55）にすることをおすすめします。
- シャッタースピードについては、30 ページをお読みください。

3 記録画素数（ ）

小さい記録画素数を選ぶと、1 枚のカードにより多く記録できます。また、データ容量が小さくなるため、電子メールの添付画像やホームページ用画像などに使用するときに有効です。
大きい記録画素数を選ぶと、鮮明にプリントすることができます。

項目	記録画素数
2304	2304×1728 画素
1600	1600×1200 画素
1280	1280×960 画素
640	640×480 画素
HDTV	1920×1080 画素

- [HDTV] で撮影した画像をハイビジョンテレビで再生する方法については、76 ページをお読みください。
  [HDTV] で撮影した画像は、プリント時に両端が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。（P99）

● お願い・ヒント ●

- 記録画素数は、動画のときは、320× 240 画素に固定されます。
- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。
- 被写体により記録枚数は変動します。
- 液晶モニターに表示される残り枚数は撮影された枚数分、減少しない場合があります。
- 記録枚数については 100 ページをお読みください。

撮影メニューを使う（つづき）

4 クオリティ（）

- ：ファイン（低圧縮）
  画質を優先し、高画質に記録します。
- ：スタンダード（高圧縮）
  撮影枚数を優先し、画質は標準で記録します。

お願い・ヒント

- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。
- 被写体により記録枚数は変動します。
- 液晶モニターに表示される残り枚数は撮影された枚数分、減少しない場合があります。
- 記録枚数については 100 ページをお読みください。

5 スポットモード（）

限られた範囲内にピントと露出を合わせることができます。明暗差の大きい被写体の一部を際立たせたい場合などに有効です。

スポットモードを [ON] に設定すると上図のようになります。被写体をスポット AF エリアに合わせ、AF/AE ロック（P26）を使って撮影してください。

- 被写体が暗いときは、ピントが通常より合いにくい場合があります。
- スポット AF エリアでの最適な露出に設定されますので、被写体によっては周りが暗く映ったり、逆に白っぽくなる場合があります。

6 音声記録（🎙）

音声付き静止画を撮ることができます。

● [ON] に設定すると [🎙] が画面に表示されます。
● ピントを合わせてシャッターボタンを押すと、撮影開始から 5 秒後、録音が自動的に終了します。シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
● 音声は本機の内蔵マイクより録音されます。
● 録音中に [MENU] ボタンを押すと解除されます。音声は記録されません。
● オートブラケット、連写のときは、音声付き静止画を撮ることができません。

7 AF 駆動（➡AF）

置きピン撮影をするときは、[AF 駆動] で AF（オートフォーカス）動作の開始ボタンを [FOCUS] ボタンに設定します。「置きピン」は、動きの速い被写体の撮影時に、あらかじめ撮影ポイントにピントを合わせておくテクニックです。
運動会でゴールしてくる子供、結婚式での新郎新婦など、被写体との距離が決まっている場合の撮影に最適です。

● [シャッター]：シャッターボタンを半押しすると、AF が働きます。
● FOCUS：[FOCUS] ボタンを押すと、AF が働きます。

■ [FOCUS] ボタンを使った置きピン撮影の手順

❶ ピントを合わせたいポイントに AF エリアを合わせる（P23）

❷ [FOCUS] ボタンを押す

• ピントが合うと、AF エリアの枠が白から緑に変わり、約 1 秒間フォーカス表示が点灯します。ピントは、もう一度 [FOCUS] ボタンを押すまで変わりません。

• シャッターボタンを半押しすると、[AF FOCUS] が消え、絞り値とシャッタースピードが表示されます。
• ピントが合わないと、フォーカス表示が点滅します。また、[FOCUS] ボタンを押さずに、シャッターボタンを半押しすると、[AF FOCUS] が赤くなります。

❸ 被写体が、ピントを合わせたポイントに収まったら、シャッターボタンを押して撮影する

● 通常の撮影をするときは[シャッター]に設定してください。置きピンなど、撮影前にあらかじめピントを合わせておく必要があるとき、[FOCUS] に設定してください。置きピン撮影が終わったら、設定を [シャッター] に戻してください。
● かんたんモード [♥] または動画モード [🎞] のときは、[シャッター] に固定されます。

撮影メニューを使う（つづき）

8 デジタルズーム（）

光学 3 倍、デジタル 3 倍の最大 9 倍まで拡大が可能になります。

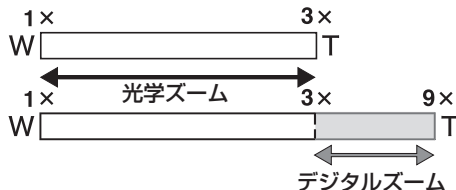
3倍

6倍

9倍

● デジタルズームを[ON]にしてズームレバーを回すと、デジタルズーム表示が出ます。

■ デジタルズーム領域に入る

● 光学ズームの最も望遠側まで拡大すると、一度ズーム表示のバーが停止します。その状態でズームレバーを T 側に回し続けるか、一度ズームレバーを離してもう一度 T 側にズームレバーを回すと、デジタルズーム領域に入ることができます。

● お願い・ヒント ●

● デジタルズームは拡大するほど画質が劣化します。
● デジタルズーム使用時は三脚の使用をおすすめします。
● 液晶モニターが消灯しているときはデジタルズームは解除されます。

9 カラーエフェクト( )

3 種類の色彩効果が得られます。撮影イメージに合わせて使い分けてください。

項目	効果
クール	青っぽい画像になります。
ウォーム	赤っぽい画像になります。
白黒	白黒画像になります。

10 画質調整( )

撮影状況、撮影イメージに合わせて使い分けてください。

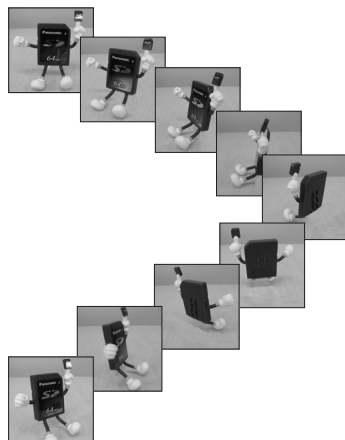
項目	効果
ナチュラル	より柔らかいイメージの画像になります。
ヴィヴィッド	よりくっきりとしたイメージの画像になります。

- かんたんモード[ ]または動画モード[ ]のときは、画質を調整できません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つ場合があります。ノイズが気になるときは、画質調整を [ナチュラル] にすることをおすすめします。

11 コマ撮りアニメ( )

本機では、コマ撮りした画像をつなぎ合わせて、最長約 20 秒の動画ファイルを作成することができます。

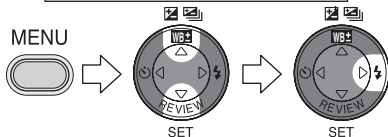
たとえば…

人形などを少しずつ動かすごとに撮影して

つなぎ合わせると動いているように見えます。

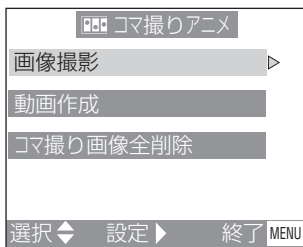
- 作成したコマ撮りアニメを再生する方法は、動画を再生するときと同じです。（P58）

撮影メニューを使う（つづき）

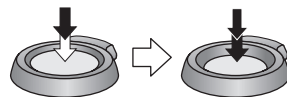
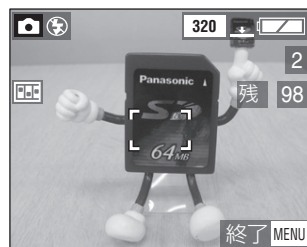
11 コマ撮りアニメ（[icon]）（つづき）

1

[コマ撮りアニメ] を選ぶ

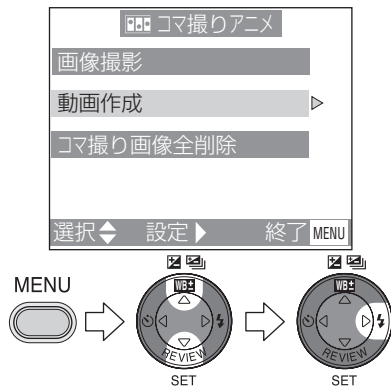
- [画像撮影] で撮影した画像を [動画作成] でつないで、動画ファイルを作成します。
- 音声は記録されません。
- アフレコ機能（P67）で音声を記録することはできません。

2

[画像撮影] を選ぶ

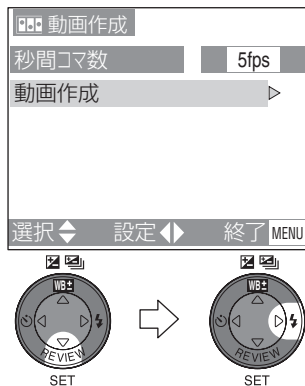
- 記録画素数は320 × 240画素になります。
- 最大 100 枚まで撮影できます。表示される残量枚数はめやすです。

3

ひとコマずつ撮影する

- ▼ を押すと、撮影した画像を確認できます。◀/▶ を押すと、前後の画像を確認することができます。
- 不要な画像は [🗑] ボタンで削除してください。

4

[動画作成] を選ぶ

- [秒間コマ数] で、◀/▶ を押し、5fps（5 コマ / 秒）か 10fps（10 コマ / 秒）を選びます。

5

[動画作成] を選び、コマ撮りアニメを作成する

- 動画作成をすると、ファイル番号が表示されます。
- 作成終了後、[MENU]ボタンを3回押してメニューを終了します。

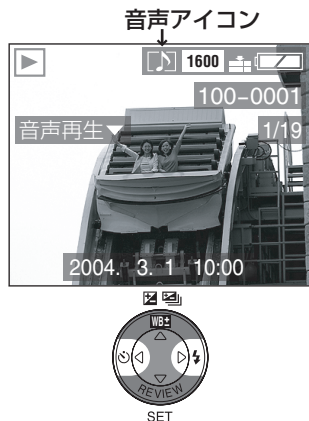
■ コマ撮りアニメ用静止画像をすべて削除する

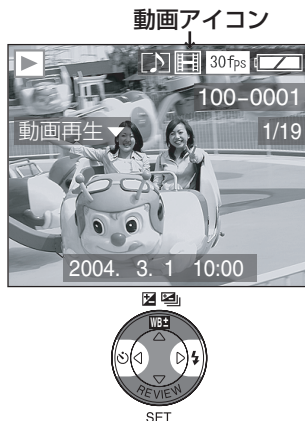
[コマ撮りアニメ] のメニューから [コマ撮り画像全削除] を選ぶと、確認画面が表示されます。◀ で [はい] を選び、▼ ボタンを押してください。

● お願い・ヒント ●

- 音声付き静止画、連写、オートブラケットは使えません。
- 各コマの画像は通常のレビュー（P27）では表示されません。
- [動画作成] を実行すると、コマ撮りアニメ用に撮影されたすべての画像が 1 つのアニメになります。不要な画像は、削除しておいてください。
- 他機では再生できない場合があります。また、他機で再生したとき、ミュート機能のない機種ではノイズが出る場合があります。

音声付き静止画／動画を再生する

■ 音声付き静止画

音声アイコン [♪] が付いた画像を選び、再生する

■ 動画

動画アイコン [▤] が付いた画像を選び、再生する

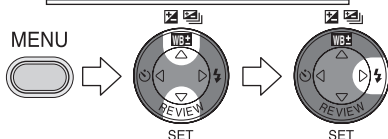
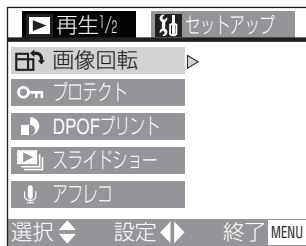
- ▼ を押すと停止し、通常の再生画面に戻ります。
- 早送り／早戻しする
  ◀/▶ を押し続けると、早送り [▶] ／早戻し [◀] になります。ボタンを離すと、通常の動画再生に戻ります。
- 一時停止する
  ▲ を押すと、一時停止します。
  もう一度 ▲ を押すと、一時停止が解除されます。

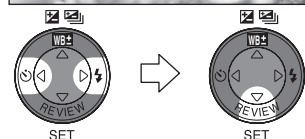
● お願い・ヒント ●

- **本機のみでの音声再生はできません。音声を再生したいときはテレビ（P76）、またはパソコン（P79）に接続してください。**
- 動画再生中や一時停止中は、ズームできません。
- 本機で再生できる動画ファイル形式は QuickTime Motion JPEG です。
- パソコンや他機で記録された QuickTime Motion JPEG ファイルは、本機で再生できない場合があります。
- 他機で撮影された動画を再生すると、画質が劣化したり、再生できない場合があります。
- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。

画像を回転する (⊟↷)

撮影した画像を 90°ごとに回転表示させることができます。
テレビで再生するときなどに便利です。

1

[画像回転] を選ぶ

2

回転方向を設定する

↶	反時計回りに 90°ごとに回転します。
↷	時計回りに 90°ごとに回転します。

- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

■ 画像回転の例

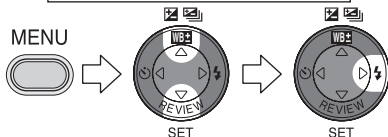
時計回り(↷)の場合

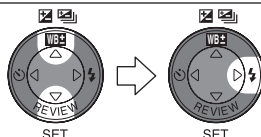
● お願い・ヒント ●

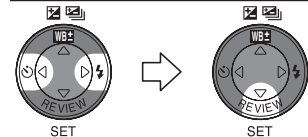
- 通常再生での静止画のみ回転できます。回転された画像を再生ズームやマルチ再生で再生した場合は、撮影時の角度の画像で表示されます。
- 画像を回転させると、撮影日時は回転させた日時に変更されます。
- プロテクトされている画像は回転できません。(P60)
- パソコンで再生するとき(P79)、Exif に対応した OS またはソフトウェアでないと、回転された画像を表示することはできません。
- Exif とは、(社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のファイルフォーマットです。

画像の誤消去を防止する（プロテクト）

画像を誤って削除することがないように、削除したくない画像にプロテクトを設定することができます。

1

[プロテクト] を選ぶ

2

[1 枚設定]、[複数設定]、または [全解除] を選ぶ

■ 1 枚設定

画像を選び、設定 / 解除する

- 設定： プロテクト表示が出ます。
- 解除： プロテクト表示が消えます。

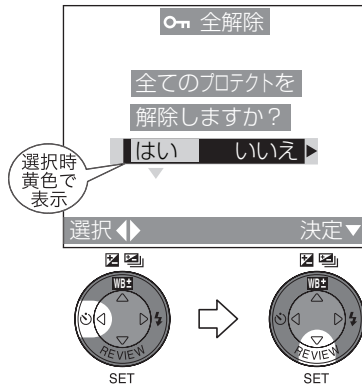
- 設定 / 解除終了後、[MENU] ボタンを 2 回押してメニューを終了します。

■ 複数設定

画像を選び、設定 / 解除する

- 設定： プロテクト表示が出ます。
- 解除： プロテクト表示が消えます。

- この手順を繰り返します。
- 設定 / 解除終了後、[MENU] ボタンを 2 回押してメニューを終了します。

■ 全解除

[はい] を選び、すべてのプロテクト設定を解除する

- 解除終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

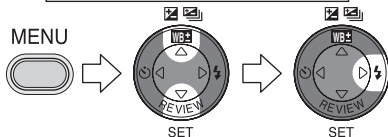
● お願い・ヒント ●

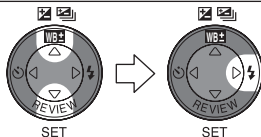
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は削除されます。（P75）
- プロテクトされた画像を削除したいときは、プロテクト設定を解除してください。
- プロテクト設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気を付けください。
- プロテクト設定をしていなくても、SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを [LOCK] 側にしておくと、画像の削除はできません。

- プロテクトされている画像にはアフレコはできません。（P67）

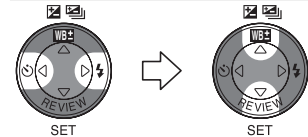
プリントしたい画像と枚数を設定する（DPOF プリント）

DPOF（ディーポフ）プリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに画像や枚数を指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。

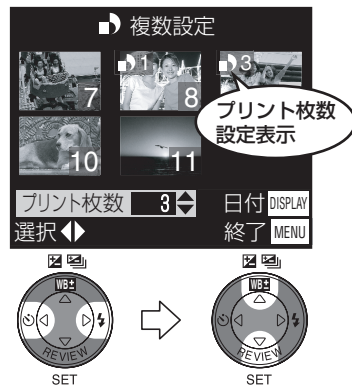
1

[DPOF プリント] を選ぶ

2

[1 枚設定]、[複数設定]、[全解除] または [インデックス] を選ぶ

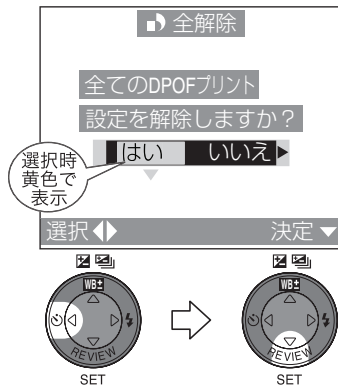
- インデックスプリントをお店に依頼するとき、[インデックス] を設定してください。

■ 1 枚設定

画像を選び、プリント枚数を設定する

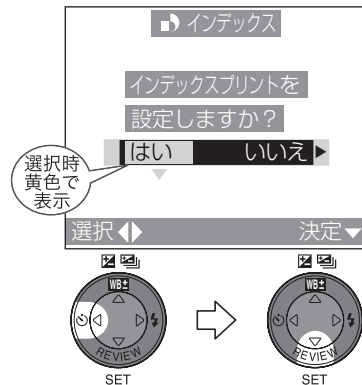
- プリント枚数は 0 〜 999 枚まで設定できます。
- このとき、プリント枚数を 0 にすると、DPOF プリント設定が解除されます。
- 設定 / 解除終了後、[MENU] ボタンを 2 回押してメニューを終了します。

■ 複数設定

画像を選び、プリント枚数を設定する

- この手順を繰り返します。
- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。
- このとき、プリント枚数を0にすると、DPOFプリント設定が解除されます。設定 / 解除終了後、[MENU]ボタンを2回押してメニューを終了します。

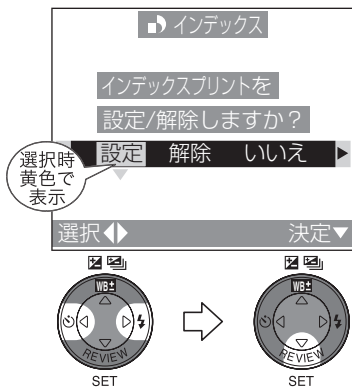
■ 全解除

[はい] を選び、すべての DPOF プリント設定を解除する

- 解除終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

■ インデックスプリント設定

[はい] を選び、設定する

- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

プリントしたい画像と枚数を設定する(DPOFプリント)(つづき)

- すでにインデックスが設定されている場合は、以下のように表示されます。
  設定 / 解除終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

■ 日付をプリントする

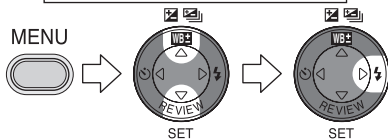
プリント枚数設定時に [DISPLAY] ボタンを押すと、押すごとに日付プリントを設定 / 解除できます。

- お店にデジタルプリントを依頼するときは、日付プリントすることを別途指定してください。
- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付をプリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの取扱説明書をお読みください。

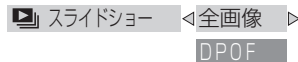
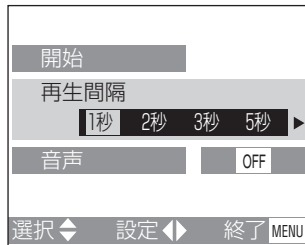
お願い・ヒント

- DPOF プリント設定すると DPOF プリント対応のプリンターで出力するときにも便利です。（P81）
- DPOF とは Digital Print Order Format の略です。DPOF 対応のシステムで活用できるようにカードの画像にプリント情報などを書き込むことができるようにしたものです。
- DPOF プリントの設定はスライドショーの DPOF 設定には反映されません。
- DCF 規格に準拠してないファイルは DPOF プリント設定できません。（DCF とは Design rule for Camera File system の略で、（社）電子情報技術産業協会のファイルシステム規格に準拠した記録方式です）
- 本機でDPOFプリント設定するときは、他機種で設定された DPOF 情報をすべて解除する必要があります。

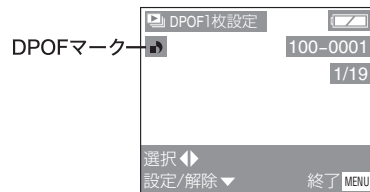
スライドショーを見る (▶)

1

[スライドショー] を選ぶ

- [全画像] か [DPOF] を選びます。[DPOF] を選ぶと、表示画像を選ぶことができます。

スライドショー ◁全画像 ▷
DPOF

2

スライドショーの設定をする

再生間隔：	1、2、3、5 秒の中から設定できます。
音声：	[ON] を選ぶと、音声付き静止画について、音声が再生されます。

DPOF 設定：([DPOF] を選んだときのみ)	スライドショーで表示させたい画像を選ぶことができます。選んだ画像には、DPOF マークが緑色で表示されます。
全解除：([DPOF] を選んだときのみ)	DPOF スライドショー設定を解除できます。

スライドショーを見る（ ）（つづき）

[開始] を選ぶ

- [MENU]ボタンを押すと終了します。

■ SD スライドショーについて

CD-ROM（付属）のソフトウェア [SD Viewer for DSC] で編集された SD スライドショーのデータが記録されているカードを本機に入れ、再生モードで電源を入れると確認画面が表示されます。

[はい] を選んで ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押すと、SD スライドショーが始まります。通常再生にするときは [いいえ] を選んで ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押してください。

- [SD Viewer for DSC]によりDPOFスライドショー設定された画像は、本機ではスライドショー表示ができません。本機で、DPOF スライドショー設定をやり直してください。

■ スライドショーで音声を再生する場合

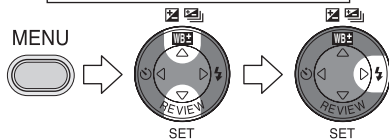
音声付き静止画をスライドショーで再生する場合、本機をテレビに接続すると、音声を再生することができます。（P76）

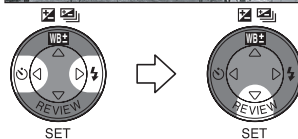
● お願い・ヒント ●

- スライドショーで動画再生はできません。
- スライドショーの DPOF 設定は、DPOF プリントの設定には反映されません。
- DPOF 設定しないで、DPOF スライドショーはできません。
- DPOF プリントが設定されている画像に、DPOF スライドショー設定を行うと、DPOF マークとプリント枚数が緑色で表示されます。
- DPOF プリントのみが設定されている場合は、DPOF マークとプリント枚数は白色で表示され、DPOF スライドショーでは表示されません。
- 本機でDPOFスライドショー設定するときは、他機種で設定された DPOF 情報をすべて解除する必要があります。

撮影したあとに音声を入れる（アフレコ 🎙）

画像にあとから音声を入れることができます。

1

[アフレコ] を選ぶ

2

画像を選び、録音を開始する

- すでに音声が入っている場合、確認画面が表示されます。◀ で [はい] を選び、▼/[REVIEW/SET] ボタンを押して録音を開始してください。（元の音声はなくなります）
- 動画や、プロテクトされた画像にはアフレコすることはできません。

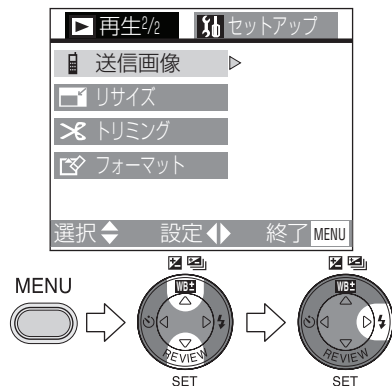
3

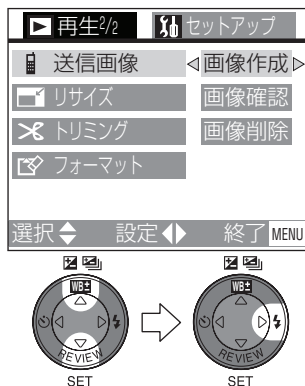
録音を終了する

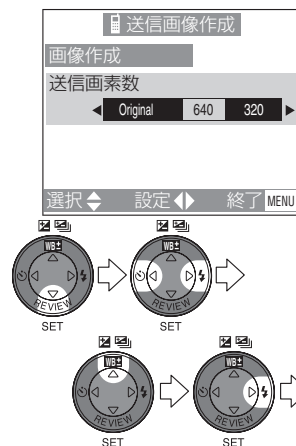
- ▼/[REVIEW/SET]　ボタンを押さなくても、約 10 秒間録音すると、自動的に終了します。
- 終了後､[MENU]ボタンを2回押してメニューを終了します。

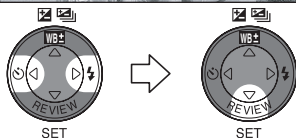
画像作成

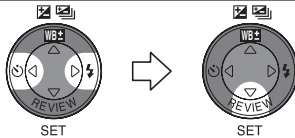
携帯電話に添付する画像を作成する（送信画像）

SD メモリーカードスロット付きの携帯電話 /feel H”（H”）に送信画像の入った SD メモリーカードを挿入すると、携帯電話 /feel H”（H”）に画像を添付することができます。

[送信画像] を選ぶ

2

[画像作成] を選ぶ

- [画像作成] で送信画像を作成します。作成した画像は [画像確認]（P70）で確認できます。また、[画像削除]（P70）で一括削除することができます。

[送信画素数] を設定する

- 送信画像のサイズを、[640]（640×480 画素）または [320]（320×240 画素）に設定してください。
- そのままのサイズで送信する場合は、[Original] を選んでください。

画像を選び、設定する

- 以下の画像は送信画像を作成できません。
  - 記録画素数[HDTV]で撮影された画像
  - 動画
  - コマ撮りアニメ
  - 音声付き静止画

必要枚数分繰り返して設定する

- ファイルサイズが合計 2 MB（約 2000 KB）を超えない枚数まで設定できます。（カードの残量によります）
- [🗑] ボタンを押すと、作成された画像を削除できます。（[Original] に設定された画像は、設定が解除されます）

6

MENU

終了する

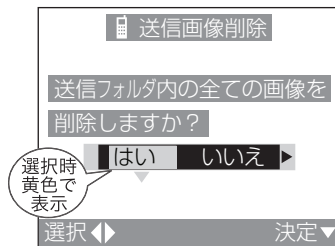
- 作成された画像が順番に表示されます。
- SDメモリーカードに、DPOF自動送信ファイル（AUTXFER.MRK）が保存されます。

携帯電話に添付する画像を作成する（送信画像）（つづき）

画像確認

2 で [画像確認] を選び、画像を選ぶ

- [🗑] ボタンを押すと、作成された画像を削除できます。（[Original] に設定された画像は、設定が解除されます）

画像削除（一括削除）

2 で [画像削除] を選び、削除する

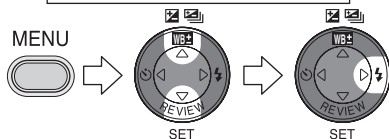
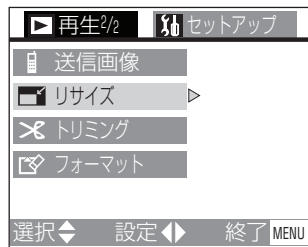
- 「はい」を選び、決定すると、送信フォルダー内のすべての画像が削除されます。([Original] に設定された画像は、設定が解除されます）
- 画像を 1 枚ずつ削除するためには、画像確認中に削除してください。
- 削除終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

お願い・ヒント

- 携帯電話 /feel H”（H”）の DPOF 機能による送信画像の利用は、SD メモリーカードスロット付きの下記の機種で使用できます。
  - KX-HS100
  - KX-HF300
  - KX-HS110
  - KX-HV50
  - KX-HV200
  - KX-HV210（2004 年 3 月現在）
- 他機で撮影した画像から送信画像を作成できない場合があります。
- [Original] で作成した場合、元の画像がプロテクトされている場合は、送信画像を削除できません。
- [Original] で作成した場合、元の画像を削除すると設定が解除されます。
- 画像送信前に、画像を確認してください。
- 本機で DPOF 自動送信ファイルを作成するときは、他機種で設定された DPOF 情報をすべて解除する必要があります。

画像のサイズを小さくする（リサイズ ）

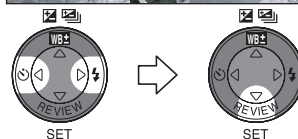
E メール添付やホームページ用に撮影した画像の容量を小さくしたいときなどに使います。

1

[リサイズ] を選ぶ

2

画像を選び、設定する

- 以下の画像はリサイズできません。
  - サイズが 640×480 画素以下の画像
  - 記録画素数が[HDTV]で撮影された画像
  - 動画
  - コマ撮りアニメ
  - 音声付き静止画
  - 回転画像（元に戻すとリサイズできます）

3

サイズを選び、設定する

- 撮影した画像のサイズよりも小さなサイズが表示されます。
- [1600]：1600 × 1200 画素
- [1280]：1280 × 960 画素
- [640] ：640 × 480 画素

画像のサイズを小さくする（リサイズ）（つづき）

4

[はい] または [いいえ] を選び、設定する

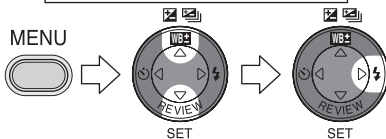
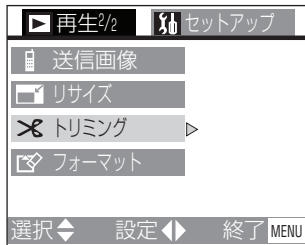
- [はい]を選ぶと画像が上書きされます。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。
- リサイズ終了後、[MENU] ボタンを2 回押してメニューを終了します。

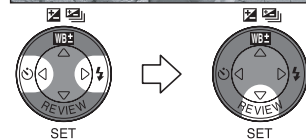
お願い・ヒント

- 他機で撮影した画像からリサイズできない場合があります。

画像を切り抜く（トリミング）

撮影した画像の不要な部分を切り抜きたいときなどに使います。

1

[トリミング] を選ぶ

2

画像を選び、設定する

- 以下の画像はトリミングできません。
  - サイズが 640×480 画素未満の画像
  - 記録画素数が [HDTV] で撮影された画像
  - 動画
  - コマ撮りアニメ
  - 音声付き静止画
  - 回転画像（元に戻すとトリミングできます）

画像を切り抜く（トリミング）（つづき）

3

切り抜く部分を選び、設定する

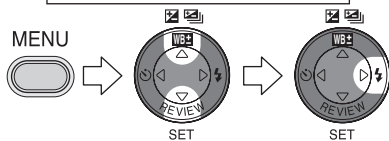
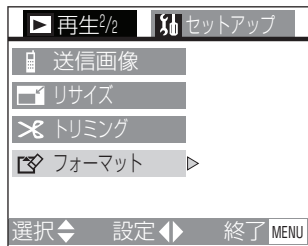
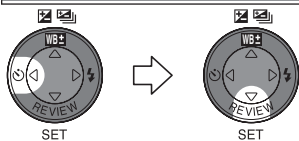
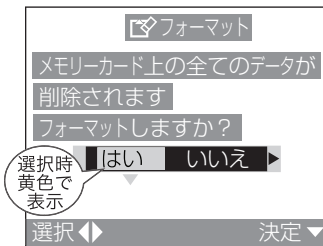
4

[はい]または[いいえ]を選び、設定する

- [はい]を選ぶと画像が上書きされます。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。
- トリミング終了後、[MENU]ボタンを2回押してメニューを終了します。

● お願い・ヒント ●

- 他機で撮影した画像からトリミングできない場合があります。
- トリミングを行うと、切り取るサイズによっては元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- トリミングを行うと画質が劣化します。

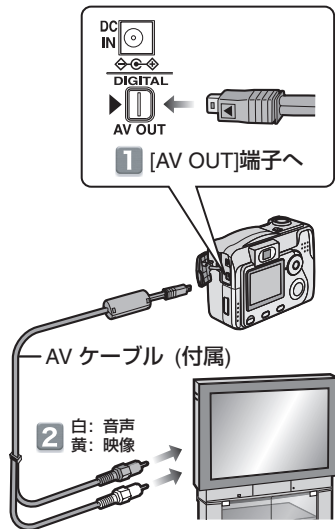
カードをフォーマットする（）

[フォーマット] を選ぶ

[はい]を選び、フォーマットする

お願い・ヒント

- 通常、カードはフォーマット（初期化）する必要はありません。「メモリーカードエラー」とメッセージが表示された場合にフォーマットしてください。
- パソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用する場合も、もう一度本機でフォーマットしてください。
- プロテクトされた画像も含めてすべてのデータは一度フォーマットすると元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。
- フォーマット中は電源を [OFF] にしないでください。
- 十分に残量のある電池（P10）または AC アダプター/DMW-AC1（別売）を使用してください。
- SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを [LOCK] 側にしているときは、フォーマットできません。
- カードがフォーマットできないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

テレビで画像を再生する

■ AV ケーブル(付属)で見る

● 電源を [OFF] にし、テレビの電源も切っておく。

1

本機の[AV OUT]端子にAVケーブルを確実に接続する

● AV ケーブルの [◀] マークが [AV OUT] 端子の [▶] マーク側に向くようにに接続してください。

2

テレビの映像入力端子と音声入力端子に AV ケーブルを接続する

3

テレビの電源を入れ、AV ケーブルを接続している入力に切り換える

4

本機の電源を [ON] にし、モードダイヤルを再生モード [▶] にする

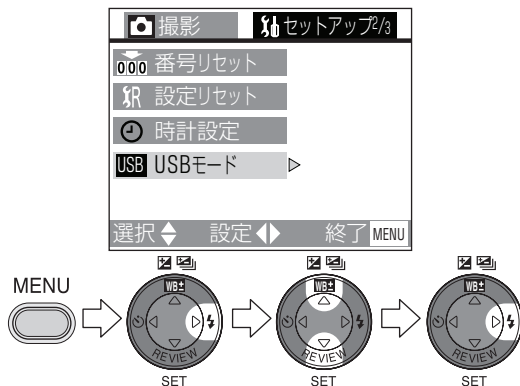
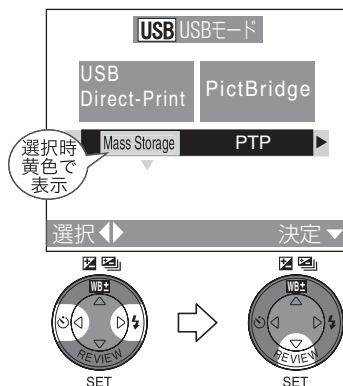
■ SD メモリーカードスロット付きテレビで見る

SD メモリーカードスロット付きテレビに撮影したカードを入れて再生することができます。このとき、記録画素数（P51）を [HDTV] に設定して撮影した画像をハイビジョンテレビで再生すると、より高画質な画像で見ることができます。

● お願い・ヒント ●

● 付属の AV ケーブル以外は使わないでください。
● モードダイヤルを再生モード[▶]にしているときのみ、テレビに画像を表示させることができます。
● 画面が流れたり色が付かなかったりする場合は、[ビデオ出力]が[NTSC]に設定されているか確認してください。
● テレビの取扱説明書もお読みください。
● 海外で見るときは 99 ページをお読みください。

USB 接続ケーブルを接続する前に（USB）

USB 接続ケーブル（付属）を使って本機とパソコンやプリンターに接続する前に、ご使用のパソコンの OS やプリンターに合わせて USB 通信方式を選びます。セットアップメニューの [USB モード] で設定してください。（P22）

USB モード	接続するパソコン	接続するプリンター
Mass Storage（USB Direct-Print）	Windows® XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98/98 SE、Mac OS X（10.1 以降）、Mac OS 9.x	USB DIRECT-PRINT（USB ダイレクトプリント）対応のプリンター
PTP（PictBridge）	Windows XP Home Edition/Professional、Mac OS X	PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンター

USB 接続ケーブルを接続する前に（つづき）

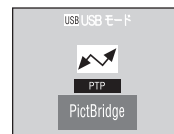
■ Windows® 98/98 SE をご使用の場合

●Windows 98/98 SE をご使用の方は、USB ドライバーのインストールを行ってから接続してください。
（Windows Me/2000/XP、Mac OS 9.x、Mac OS X をご使用の方は、USB ドライバーのインストールの必要はありません）

■ Windows® 2000 Professional、Windows Me、Windows 98/98 SE、Mac OS 9.x をご使用の場合

Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98/98 SE、Mac OS 9.x は、[PTP]（PictBridge）に対応していません。

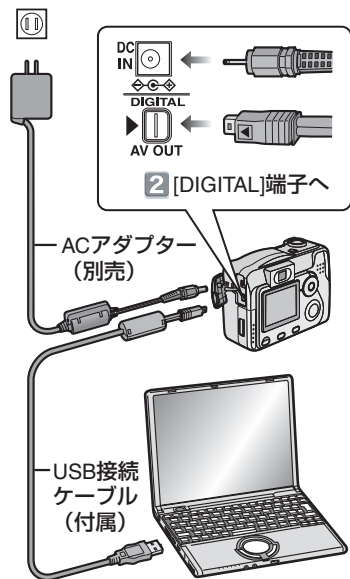
●本機をパソコンに接続する場合、セットアップメニューの [USB モード] を [PTP] に設定しないでください。
（お買い上げ時は、[Mass Storage] に設定されています）

●[USB モード] を [PTP] に設定して、上記の OS のパソコンと接続してしまったときは、本機側の液晶モニターには右のような画面が表示されます。

このとき、パソコンの画面には OS ごとに下記のメッセージが表示されます。「キャンセル（中止）」を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

OS	メッセージ
Windows® 2000 Professional	新しいハードウェアの検索ウィザードの開始
Windows Me Windows 98/98 SE	ハードウェア情報データベースの更新 → 新しいハードウェアの追加ウィザード （パソコンに 2 回目以降接続したときは、「新しいハードウェアの追加ウィザード」のみ表示されます）
Mac OS 9.x	USB 装置（デバイス）（DMC-LC70）に必要なドライバが使用できません。 インターネット経由でドライバを探しますか？

[USB モード] を [Mass Storage] に設定してから、USB 接続ケーブルをパソコンに接続し直してください。

パソコンと接続する

Windows® 98/98 SE をご使用の方は、USB ドライバーのインストールを行ってから接続してください。
（Windows Me/2000/XP、Mac OS 9.x、Mac OS X をご使用の方は、USB ドライバーのインストールの必要はありません）

電源を [ON] にして、お使いのパソコンの OS に合わせて、[USB モード] を設定する

- [Mass Storage] または [PTP] に設定します。77 ページの「USB 接続ケーブルを接続する前に」をよくお読みください。
- Windows® 2000 Professional、Windows Me、Windows 98/98 SE、Mac OS 9.x **をご使用の場合、**[PTP] **に設定しないでください。**（P78）

USB 接続ケーブル（付属）で、本機とパソコンを接続する

- USB接続ケーブルの[◀]マークが[DIGITAL]端子の[▶]マーク側に向くように接続してください。

USB モードの設定によって表示が異なります。80 ページをお読みください。

パソコンと接続する（つづき）

■ Mass Storage

Windows の場合

[マイコンピュータ] フォルダーにドライブが表示されます。

- 初めて接続したときは、Windowsのプラグアンドプレイにより、本機を認識するために必要なドライバーが自動的にインストールされ、そのあと [マイコンピュータ] フォルダーにドライブが表示されます。

Macintosh の場合

画面上にドライブが表示されます。

■ PTP

Windows の場合

[マイコンピュータ] フォルダーにカメラアイコンが表示されます。

- 初めて接続したときは、Windowsのプラグアンドプレイにより、本機を認識するために必要なドライバーが自動的にインストールされ、そのあと [マイコンピュータ] フォルダーにカメラアイコンが表示されます。

Macintosh の場合

- image capture または iPhoto で画像を読み込むことができます。

● お願い・ヒント ●

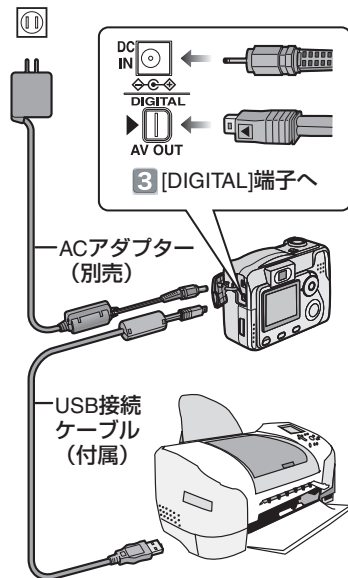
- **通信中に電池がなくなるとデータが破壊される恐れがあります。電池残量は液晶モニターに表示されませんので、接続するときは十分に残量のある電池（P10）または AC アダプター/DMW-AC1（別売）をお使いください。**
- **通信中に電池残量が少なくなった場合は、電源表示ランプが点滅し警告音が鳴りますので、すぐに通信を中止してください。そのあと電源を [OFF] にして、新しい電池と交換するか、電池を充電してください。**
- [USBモード]を[PTP]に設定して、Windows XP、Mac OS X 以外の OS に接続した場合は、78 ページをよくお読みください。
- 通信中は動作表示ランプが点灯します。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。
- 詳しくは、別冊の「パソコン接続編」をお読みください。

■ **PTP 設定について**

- パソコンによっては、通信画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 本機からは、画像の読み出しのみ行うことができます。カードへの書き込みや、削除はできません。
- カードの中に1000枚以上画像があると、取り込めない場合があります。
- 本機とパソコンを USB 接続ケーブルで接続している状態で、パソコンがスタンバイ状態から復帰した場合、正常に通信できない場合があります。

プリンターに接続してプリントする

USB 接続ケーブル（付属）を使って本機を PictBridge や USB DIRECT-PRINT に対応したプリンターに直接接続し、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選んだり、プリント開始を指示することができます。

■ 接続する

● USB 接続ケーブルの [◀] マークが [DIGITAL] 端子の [▶] マーク側に向くように接続してください。

電源を [ON] にして、お使いのプリンターに合わせて、USB モードを設定する（P77）

お使いのプリンター	USB モード
PictBridge	PTP
USB DIRECT-PRINT	Mass Storage

2 プリンターの電源を入れる

3 USB 接続ケーブル（付属）で、本機とプリンターを接続する

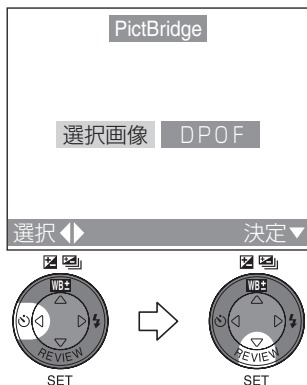
DPOFプリントを設定している（P62）	「DPOF」（P83）へ
DPOF プリントを設定していない	「選択画像」（P82）へ
プリンターがDPOFに対応していない	

● お願い・ヒント ●

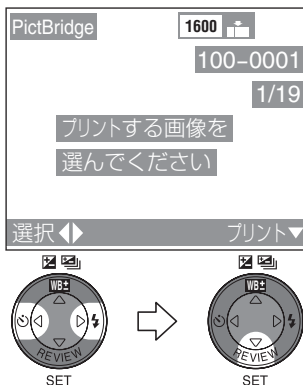
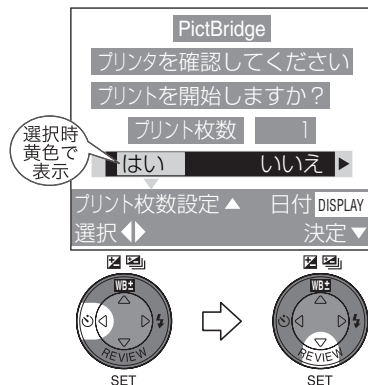
- **通信中に電池残量が少なくなった場合は、電源表示ランプが点滅し警告音が鳴りますので、すぐに通信を中止してください。そのあと電源を [OFF] にして、新しい電池と交換するか、電池を充電してください。または AC アダプター /DMW-AC1（別売）をお使いください。**
- あらかじめプリンター側で用紙サイズや印字品質などプリントの設定をしてください。対応プリンターについてはプリンターメーカーにお問い合わせください。(プリンターの取扱説明書もお読みください)
- プリントに時間がかかる場合がありますので、接続するときは十分に残量のある電池（P10）または AC アダプター /DMW-AC1（別売）をお使いください。
- プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜いてください。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。

プリンターに接続してプリントする（つづき）

- あらかじめプリンター側で用紙サイズや印字品質などプリントの設定をする。（プリンターの取扱説明書をお読みください）
- プリンターに接続する。（P81）

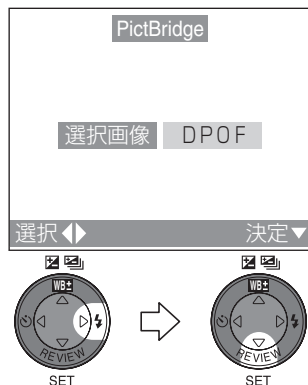
■ 選択画像

[選択画像] を選ぶ

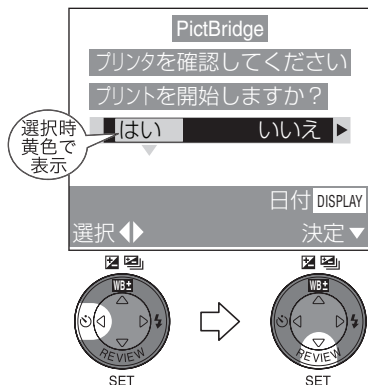
- DPOF プリントが設定されていない場合は、2 の画面が表示されます。

上の画面は、PictBridge の場合です。USB DIRECT-PRINT の場合は、画面上部が「ダイレクトプリント」になります。

画像を選ぶ

[はい] を選び、プリントする

- プリント枚数を設定したい場合は、▲を押して ◀/▶ でプリント枚数を設定し、▼を押してからプリントしてください。
- 途中でプリントを中止したい場合は [MENU] ボタンを押してください。
- 日付プリントについては、84 ページをお読みください。

- あらかじめ本機で DPOF プリントの設定をしておく。（P62）
- あらかじめプリンター側で用紙サイズや印字品質などプリントの設定をする。（プリンターの取扱説明書をお読みください）
- プリンターに接続する。（P81）

■ DPOF

[DPOF] を選ぶ

- 新たに設定した内容で DPOF プリントする場合は、一度USB接続ケーブルを抜いてから、もう一度プリンターに接続してください。
- [MENU] ボタンを押すと DPOF プリントの設定が変更できます。（P62）

[はい] を選び、プリントする

- 途中でプリントを中止したい場合は [MENU] ボタンを押してください。
- 日付プリントについては、84 ページをお読みください。

● お願い・ヒント ●

- プリント枚数設定が、一定数以上になると、残り枚数が [---] で表示される場合があります。
  PictBridge：1000 以上
  USB DIRECT-PRINT：255 以上

■ PictBridge でプリントする場合

- DPOF プリントに対応していないプリンターに接続した場合、[DPOF] は選ぶことができません。
- ケーブル切断禁止アイコン [ ] が表示されているときは、USB 接続ケーブルを抜かないでください。
- プリント中に黄色い[●]のアイコンが表示されているときは、プリンターからエラーメッセージを受けとっています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。

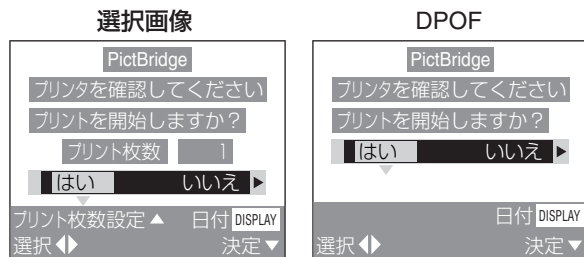
プリンターに接続してプリントする（つづき）

■ 日付をプリントするには

DPOF プリント設定で日付プリントを設定する方法（P64）と、[DISPLAY] ボタンを押して日付プリントを設定する方法があります。

❶ [DISPLAY] ボタンを押して日付プリントを設定する

お使いのプリンターが DPOF プリント設定の日付プリントに対応していないときや DPOF プリント設定を使わないときは、プリントを開始する前に（下の画面のとき）、[DISPLAY] ボタンを押して、日付プリントを設定してください。

選択画像

DPOF

❷ DPOF プリント設定で日付プリントを指定しておく

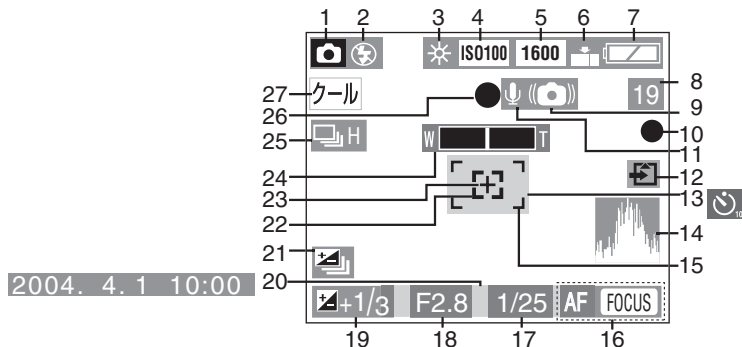
お使いのプリンターが DPOF の日付プリント設定に対応しているときは、DPOF プリント設定であらかじめ日付プリントを設定しておくことをおすすめします。
[DPOF] を選んでプリントを開始すると、撮影日時がプリントされます。プリントを開始するときに、[DISPLAY] ボタンを押す必要はありません。

● お願い・ヒント ●

- 日付プリントの設定は、プリンター側の設定が優先される場合がありますので、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。
- [DISPLAY] ボタンによる日付プリント設定と DPOF プリント設定の日付プリント設定で、どちらが優先されるかは、お使いのプリンターによって異なります。
- プリンターが、日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。

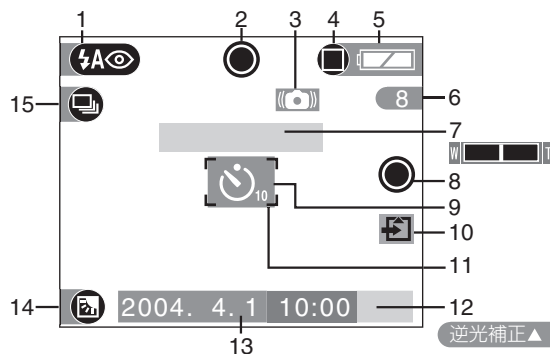
液晶モニターの表示

液晶モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

撮影時

1 撮影モード(P7)
2 フラッシュモード(P29)
3 ホワイトバランス(P49)
4 ISO 感度(P51)
5 記録画素数(P51)
6 クオリティ(圧縮率)(P52)
　10 fps / 30 fps (動画コマ数):動画時
7 電池残量(P10)
8 残り枚数 / 時間
　×××秒:動画時
9 手ぶれ警告表示(P25)
10 記録動作表示
11 音声記録(P53)
12 カードアクセス表示(P15)
13 セルフタイマーモード(P33)
14 ヒストグラム表示(P19)
15 AF エリア(P23)
16 AF 駆動(FOCUS 時のみ)(P53)
17 シャッタースピード表示(P23)
18 絞り値表示(P23)
19 露出補正(P31)
20 現在日時(P16)
　起動時/時計設定/再生モードから撮影モードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。
21 オートブラケット(P32)
22 スポット AF エリア(P52)
23 スポット測光ターゲット(P52)
24 ズーム(P28)
　

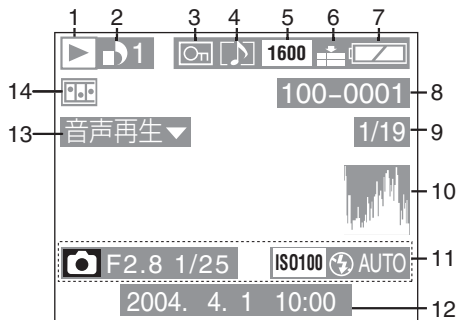
　:
　デジタルズーム設定時(P54)
25 連写(P34)
26 フォーカス表示(P23)
27 カラーエフェクトモード(P55)

液晶モニターの表示（つづき）

かんたんモード時

1 フラッシュモード（P29）
2 フォーカス表示（P23）
3 手ぶれ警告表示（P25）
4 画質設定（P42）
5 電池残量（P10）

6 残り枚数
7 ズーム（P28）
8 記録動作表示
9 セルフタイマーモード（P33）
10 カードアクセス表示（P15）

11 AF エリア（P23）
12 逆光補正操作表示（P43）
13 現在日時（P16）
起動時 / 時計設定 / 再生モードからかんたんモードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。
14 逆光補正 ON 表示（P43）
15 連写（P34）

再生時

1 再生モード
2 DPOF[ ] プリント枚数(P62)
 (白):プリント設定済み
 (緑):スライドショー設定済み
 (緑)(プリント枚数付き):
プリント / スライドショーともに
設定済み
3 プロテクト画像(P60)
4 音声付き静止画(P58)
5 記録画素数(P51)
 :動画時
6 クオリティ(圧縮率)(P52)
5 fps /10 fps /30 fps :動画時
 (引き伸ばし)/
 (サービス版)/
 (E メール):
かんたんモード時
7 電池残量(P10)
8 フォルダー/ ファイル番号
9 ページ番号 / トータル枚数
10 ヒストグラム表示(P19)
[DISPLAY] ボタンを押すと表示
されます。
11 撮影情報(P18)
(撮影モード/絞り値/シャッター
スピード /ISO 感度 / フラッシュ
モード / ホワイトバランス)
[DISPLAY] ボタンを押すと表示
されます。
12 撮影日時
13 音声再生(P58)
動画再生▼ :動画時(P58)
14 コマ撮りアニメ(P55)

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

指定以外の電池を使わない
電池の端子部（⊕・⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
電池を分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
電池を炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要（寿命）になった電池については、96ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
  液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

⚠警告

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

⚠警告

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子さまにはご注意ください。

雷が鳴り出したら、本機の金属部に触れない

接触禁止

落雷すると、感電の原因になります。

異常があったときは、電池を取り外す

- ・内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- ・落下などで外装ケースが破損したとき
- ・煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

⚠注意

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。本機やカード、電池などを絶対に放置しないでください。
外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

フラッシュ発光中に、近くで発光部を直接見ない

強い光により、目を痛める原因になることがあります。

⚠注意

フラッシュの発光部分を直接手で触らない

接触禁止

やけどの原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす原因になることがあります。

- 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

⚠注意

電池は誤った使いかたをしない

・⊕と⊖は逆に入れない
・新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
・乾電池は充電しない
・加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない
・ネックレスなどの金属物といっしょにしない
・被覆のはがれた電池は使わない
・乾電池の代用として充電式電池を使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

●長期間使わないときは、取り出しておいてください。
●万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

使用上のお願い

■ 本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、電源を切り、電池や AC アダプター/DMW-AC1（別売）を一度取り外してから、あらためて電池や AC アダプターを取り付け、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると外装ケースが壊れ、故障します。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする
また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりは、本機の故障の原因になります。
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。万一雨水や水滴がかかったときも、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、電池を取り出しておいてください。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 本機は、柔らかい乾いた布でほこりをふいてください。汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を水でうすめ、布をひたし、よく絞って汚れをふき、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 万一雨水や水滴がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

本機を長期間使用しないときは

- 高温、多湿、油煙の多いところに保管しないでください。レンズにかびが付いたり、つゆつきが起こったりする場合があります。
- 涼しく、乾燥していて、風通しのよい、ほこりや化学薬品のないところに保管してください。
- 長期間の保存には、密閉した容器に乾燥剤と一緒に入れることをおすすめします。

使用上のお願い（つづき）

■ 電池について

本機を長期間使用しないときは、必ず電池を取り出す

- 入れたままにしておくと、本機の電源が [OFF] であっても、絶えず微少電流が流れているので電池が放電します。ニッケル水素電池の場合は、そのままにしておくと、過放電になり、充電しても電池が使用できなくなる恐れがあります。
- 電池は涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  （推奨温度 :15 ℃～ 25 ℃、推奨湿度 :40%～ 60%です）
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、電池の寿命が短くなることがあります。
- 高温・多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因となります。
- 充電式のニッケル水素電池を長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、電池残量がなくなってから、本機から取り外して再保管することをおすすめします。

出かけるときは電池を準備する

- 使用したい時間の 3 ～ 4 倍の電池を準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 充電式電池を使用している場合、旅行をされるときは、現地で電池を充電できるように充電器も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。

電池を誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

■ ニッケル水素電池について

不要になった電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、社団法人電池工業会小形二次電池再資源化推進センターのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.JBRC.com

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- ⊕ 端子、⊖ 端子をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

Ni-MH

充電式
ニッケル水素
電池使用

■ つゆつきについて

夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。この現象が本機に起こった場合が「つゆつき」です。
つゆつきが起こっていると撮影できなくなります。つゆつきを起こさない心がけと、起こったときの処置を正しく守ってください。

つゆつきが起こる原因は

下記のように温度差、湿度差があると起こります。

- 寒い屋外から暖かい屋内に持ち込んだとき
- 車外から冷房の効いた車などに持ち込んだとき
- 寒い部屋を急に暖房したとき
- エアコンなどの冷風が本機に直接当たっていたとき
- 湿気がたち込めるなど湿度の高いところ

つゆつきが起こった場合の処置

- 電源を[OFF]にし、2時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。
- 本機を寒い場所から暑い場所に移すときは、つゆつきの発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れ、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

■ 液晶モニターについて

- 温度差が激しい場所では、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが0.01%以下で画素欠けするものがあります。

使用上のお願い（つづき）

■ カードについて

動作表示ランプとカードアクセス表示が点灯中（カードにアクセス中）は、メモリーカード扉、電池扉を開けてカードや電池を抜いたり、電源を切らない、また振動や衝撃を与えない
カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが壊れる恐れがあります。また、カードの内容が壊れたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運び時は収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水などの液体、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

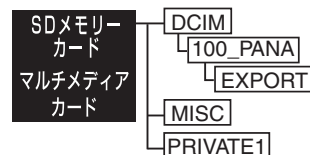
画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが壊れたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 「しばらくお待ちください」と表示されているときは、絶対に電池を取り外したり、AC アダプター / DMW-AC1（別売）を抜いたり、カードを取り出したりしないでください。データが壊れたり、故障の原因になります。

■ miniSD™ カード（別売）について

- miniSD™ カードを本機で使用する場合は、専用の miniSD™ アダプターを必ず装着してお使いください。
- miniSD™ アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。必ず、miniSD™ カードを入れてお使いください。

■ フォルダー構造について

データを記録したカードをパソコンに入れると、フォルダーが下図のように表示されます。

- 100_PANA フォルダーなどには最大で 999 枚の画像が記録されます。
- MISC フォルダーには DPOF 設定されたファイルが記録されます。
- EXPORT フォルダーには送信画像のファイルが記録されます。
- PRIVATE1 フォルダーにはコマ撮りアニメで撮影したファイルが記録されます。
- コマ撮りアニメで作成された動画は、100_PANA などのフォルダーに記録されます。

■ 三脚について

市販のカメラ用三脚を使うと、シャッタースピードが遅いときや、望遠で撮影するときでも手ぶれのない安定した撮影ができます。

● 三脚の取扱説明書もよくお読みください。

■ HDTV モードで撮影された画像のプリントについて

記録画素数（P51）を [HDTV] に設定して撮影された画像をお店やプリンターでプリントすると、画像の両端が切れてプリントされる場合がありますので、事前にご確認ください。

● お店にプリントを依頼するときは、画像の両端が切れないようにプリントできるかどうかお店にご相談ください。
● トリミングや「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミングまたは「ふちなし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの取扱説明書をお読みください）

■ 海外で使う

撮ったものを海外で見るには

セットアップメニュー（再生モード）画面から [ビデオ出力] を選んで設定すると、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国・地域と、PAL 方式を採用している国・地域でテレビに接続して見ることができます。

日本と同じ NTSC 方式を採用している国、地域

●アメリカ合衆国
●アンチグア・バーブーダ
●イエメン（一部地域）
●英領バーミューダ諸島
●エクアドル
●エルサルバドル
●ガイアナ
●カナダ
●キューバ
●グァテマラ
●グァム島
●グレナダ
●コスタリカ
●コロンビア
●ジャマイカ
●スリナム
●セントクリストファー･ネイビス
●セントビンセント・グレナディーン諸島
●セントルシア
●大韓民国
●台湾
●チリ
●ドミニカ共和国
●ドミニカ国
●トリニダード・トバゴ
●ニカラグア
●ハイチ
●パナマ
●バハマ
●バルバドス
●フィジー
●フィリピン
●プエルトリコ
●米領サモア
●ベトナム（一部地域）
●ベネズエラ
●ベリーズ
●ペルー
●ボリビア
●ホンジュラス
●マーシャル諸島
●マリアナ諸島
●ミクロネシア連邦
●ミャンマー
●メキシコ

記録枚数について

記録画素数	2304×1728		1600×1200		1280×960		640×480	
クオリティ	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード
16 MB	約 8 枚	約 16 枚	約 17 枚	約 34 枚	約 22 枚	約 43 枚	約 69 枚	約 129 枚
32 MB	約 17 枚	約 34 枚	約 36 枚	約 72 枚	約 47 枚	約 90 枚	約 145 枚	約 270 枚
64 MB	約 35 枚	約 70 枚	約 74 枚	約 149 枚	約 96 枚	約 184 枚	約 298 枚	約 553 枚
128 MB	約 72 枚	約 142 枚	約 150 枚	約 301 枚	約 195 枚	約 372 枚	約 602 枚	約 1118 枚
256 MB	約 144 枚	約 283 枚	約 300 枚	約 600 枚	約 390 枚	約 743 枚	約 1200 枚	約 2229 枚
512 MB	約 291 枚	約 571 枚	約 604 枚	約 1209 枚	約 785 枚	約 1497 枚	約 2418 枚	約 4491 枚

記録画素数	1920×1080（HDTV）	
クオリティ	ファイン	スタンダード
16 MB	約 17 枚	約 34 枚
32 MB	約 36 枚	約 72 枚
64 MB	約 74 枚	約 149 枚
128 MB	約 150 枚	約 301 枚
256 MB	約 300 枚	約 600 枚
512 MB	約 604 枚	約 1209 枚

- 画像の記録枚数はめやすです。（ファイン、スタンダード混在時は変化します）
- 被写体により記録枚数は変動します。

メッセージ表示

確認 / エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。

メッセージ	実行していただきたいこと
メモリーカードがありません	カードを入れてください。
このメモリーカードはプロテクトされています	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。
表示できる画像がありません	画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。
メモリーカード残量がありません / メモリーカード残量が不足しています	新しいカードに取り換える、または不要なデータを削除してください。
モードダイヤルがずれています	モードダイヤルの位置がずれたまま電源を [ON] にしています。モードダイヤルの位置を正しく合わせてください。
時計を設定して下さい	お買い上げ時や長期間保管していた場合などに表示されます。もう一度時計を設定してください。
電池を交換してください	新しい電池または満充電された電池と交換してください。
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから削除や上書きをしてください。
削除できない画像があります / この画像は削除できません	DCF 規格（P35）に準拠していない画像は削除できません。

メッセージ表示（つづき）

メッセージ	実行していただきたいこと
設定枚数をこえました	複数削除で一度に設定できる枚数を超えています。一度決定してから、もう一度設定をしてください。
この画像には設定できません	DCF 規格（P35）に準拠していない画像は DPOF 設定できません。
メモリーカードエラー・フォーマットしますか？	本機では認識できないフォーマットです。本機でフォーマットし直してください。 ※また、miniSD™ アダプターに miniSD™ カードを入れずに本機に挿入してもこの表示が出ます。必ずアダプターに miniSD™ カードを入れてお使いください。
電源を入れ直してください	レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。 もう一度電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー	カードへのアクセスに失敗しました。 もう一度カードを入れてください。
リードエラー	データの読み込みに失敗しました。もう一度再生してください。
ライトエラー	データの書き込みに失敗しました。カードを抜くか、一度電源を [OFF] にしてから、もう一度 [ON] にして記録してください。またはカードが壊れている可能性があります。

故障かな？と思ったら

メニュー設定をお買い上げ時の状態に戻すと、症状が改善する場合があります。
セットアップメニューの [設定リセット] を実行してください。（P22）

Q（質問）	A（回答）
電源が入らない。	● 電池は正しく入っていますか？確認してください。（P13） ニッケル水素電池をお使いの場合、十分に充電された電池をお使いください。
電源が入っていてもすぐに切れる。	● 電池が消耗していませんか？電池を交換してください。（P13） ニッケル水素電池をお使いの場合、十分に充電された電池をお使いください。 ● 単3形アルカリ乾電池､単3形充電式ニッケル水素電池以外の電池を使っていませんか？指定の電池をお使いください。（P9） ● オキシライド乾電池、ニッケルマンガン電池を使っていませんか？ オキシライド乾電池、ニッケルマンガン電池は、電池の特性により、電池残量が正しく表示されません。（P9） ● 電池残量が少ない状態でシャッターボタンを半押しすると､液晶モニターが黒くなって電池残量表示が点滅したあと、電源が切れる場合があります。これは電池残量不足により、異常な画像が記録されることを防止するための動作であり、異常ではありません。新しい電池に交換してください。（P13） ● お買い上げ時はパワーセーブが設定されています。何も操作しないと、2 分後に本機の電源が切れますが、異常ではありません。パワーセーブの設定はセットアップメニューで変更できます。（P20）
液晶モニターの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	この現象は、シャッターボタンを半押ししたとき撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。
画像が撮れない。	● カードが入っていますか？（P14） ● モードダイヤルは正しいモードに設定されていますか？（P7） ● カードのメモリー残量はありますか？撮影する前にいくつかの画像を削除してください。（P38）

故障かな？と思ったら（つづき）

Q（質問）	A（回答）
液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。	液晶モニターの明るさを正しく調整してください。（P21）
液晶モニターに画像が出ない。 （電源表示ランプは点灯している）	液晶モニターが消灯になっていませんか？ [DISPLAY] ボタンを数回押して表示を切り換えてください。（P18） エコモードが働いていませんか？（P44） フラッシュ撮影中ですか？フラッシュ充電中は、消灯することがあります。
内蔵フラッシュが発光しない。	フラッシュを発光禁止に設定していませんか？フラッシュモードを変更してください。（P29）
ピントが合わない。	● 撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。モードダイヤルを回して、被写体までの距離に応じたモードにしてください。（P7） ● [AF 駆動] を [シャッター] に設定してください。（P53）
再生できない。	● カードが入っていますか？（P14） ● カードに再生できる画像はありますか？（P35） ● モードダイヤルは再生 [▶] に設定されていますか？（P35）
テレビに画像が出ない。 テレビ画面が流れたり、色が付かない。	● テレビと正しく接続されていますか？確認してください。（P76） ● テレビはビデオ入力モードに設定してください。 ● [ビデオ出力] を [NTSC] に設定してください。（P99）
パソコンに接続して画像を転送できない。	● パソコンと正しく接続されていますか？確認してください。（P79） ● パソコンが本機を正常に認識していますか？（P80） ● USB モードは正しく設定されていますか？（P77）
時計が合っていない。	● 本機を長期間放置すると、時計の設定が消えることがあります。「時計を設定して下さい」のメッセージが出ますので、もう一度時計の設定をしてください。（P16） ● 時計を設定していない状態で撮影すると、[0. 0. 0 0:00] の日付が記録されます。

Q(質問)	A(回答)
液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯する。	異常ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してお使いください。
液晶モニターにノイズが出る。	暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像には影響しません。
液晶モニターに赤い縦じまが出る。	スミアという現象です。これは CCD の特長であり、異常ではありません。被写体に明るい部分があると出ます。動画撮影では記録されますが、静止画像には影響しません。
ズームレバーを T 側から W 側へ回し指を離すと、被写体の大きさが T 側へ少し戻る。 **また、その際、本機を持った手に多少振動を感じる。**	レンズの性能を保持するための動作です。異常ではありません。
USB DIRECT-PRINT **または** PictBridge **対応のプリンターからプリントできない。**	USB モードは正しく設定されていますか?(P77)
プリントすると、画像の両端が切れる。	記録画素数を [HDTV] に設定していませんか?(P51) ● お店にプリントを依頼するときは、画像の両端が切れないようにプリントできるかどうかお店にご相談ください。 ● トリミングや「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミングまたは「ふちなし」の設定を解除してお試しください。(プリンターの取扱説明書をお読みください)
メニューの言語が日本語以外の表示になっている。	セットアップメニューで [] アイコンを選び、言語設定をしてください。(P22)

仕様

電源	DC 3.0 V
消費電力	1.6 W（液晶 ON 時） 0.45 W（液晶 OFF 時） 0.8 W（液晶再生時）

カメラ有効画素数	400 万画素
撮像素子	1/2.5 型 CCD 総画素数 423 万画素 原色フィルター
レンズ	光学 3 倍ズーム f=5.8 ～ 17.4 mm （35 mm フィルムカメラ換算：35 ～ 105 mm）/ F2.8 ～ 4.9
デジタルズーム	最大 3 倍
フォーカス	コントラスト検出　オート / マクロ スポット AF（スポットモード）
撮影範囲	通常 : 50 cm ～∞ マクロモード / かんたんモード時 : 10 cm（W 端時）/50 cm（T 端時）～∞
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
連写撮影	連写速度：高速3.3コマ/秒、低速2コマ/秒 連写枚数（最大）： 10 コマ（スタンダード）、5 コマ（ファイン） 2304×1728 画素撮影時 : 5 コマ（スタンダード）、3 コマ（ファイン）
動画撮影	320×240 画素、10 コマ / 秒、30 コマ / 秒 音声付き
ISO 感度	AUTO/50/100/200/400
シャッタースピード	8 ～ 1/2,000 秒 動画：1/30 ～ 1/2,000 秒
ホワイトバランス	AUTO/ 晴天 / 曇り / 白熱灯 / セットモード
露出	プログラム AE 露出補正（1/3EV ステップ、－2 ～ ＋2EV）
測光方式	評価測光/スポット測光（スポットモード）
液晶モニター	1.5 型低温ポリシリコン TFT 液晶 （11.4 万画素）（視野率約 100%）
ファインダー	実像式光学ズームファインダー
フラッシュ	撮影範囲（ISO400/AUTO 設定時）： W 端時：約 30 cm ～ 4.8 m/ T 端時：約 50 cm ～ 2.8 m オート / 赤目軽減オート / 強制発光 / 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止
マイク	モノラル

記録メディア	SDメモリーカード／マルチメディアカード
記録画素数	静止画： • 2304×1728 画素 • 1600×1200 画素 • 1280×960 画素 • 640×480 画素 • 1920×1080 画素（HDTV） 動画： • 320×240 画素
クオリティ（圧縮率）	ファイン / スタンダード
記録画像ファイル形式 静止画 音声付き静止画 動画	 JPEG（DCF準拠、Exif2.2準拠）、DPOF対応 JPEG（DCF 準拠、Exif2.2 準拠）＋640×480 画素 QuickTime QuickTime Motion JPEG（音声付き動画）
インターフェース デジタル アナログビデオ / オーディオ	 USB NTSC/PAL コンポジット（メニュー切り換え）/ オーディオライン出力（モノラル）
端子 DIGITAL/AV OUT DC IN	 専用ジャック（8 pin） TYPE1 ジャック

寸法	幅 87.5 mm × 高さ 64.1 mm × 奥行き 35.3 mm（突起部除く）
質量	約 162 g（本体） 約 207 g（SD メモリーカード、電池含む）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10% ～ 80%
電源	単 3 形アルカリ乾電池（2 本）（付属） 単 3 形ニッケル水素電池（2 本）（別売） AC アダプター /DMW-AC1（別売）

さくいん

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間 ：お買い上げ日から本体1年間 **「本体」にはソフトウェアの内容は含みません**

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	デジタルカメラ
品　番	DMC-LC70
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金 は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、113～115ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉

Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区

地区	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地区	住所	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

保証とアフターサービス（よくお読みください）（つづき）

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

首都圏地区

地域	住所・電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1 ☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171

中部地区

地域	住所・電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298 ☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765 ☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所・電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0104

さらに詳しい情報はホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp

QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTime は米国およびその他の国々で登録された商標です。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMC-LC70
販　売　店　名	☎（　　　）		
お客様ご相談窓口	☎（　　　）		

松下電器産業株式会社

ネットワーク事業グループ
〒571−8505 大阪府門真市松生町１番４号

システム事業グループ
〒571−8503 大阪府門真市松葉町２番１５号

Panasonic　デジタルカメラ　DMC-LC70　取扱説明書